

BDL4335QL
V1.00



<http://www.philips.co.jp>

ユーザーマニュアル (日本語)

PHILIPS

Signage*Solutions*

安全上の注意

警告および使用上の注意

以下の安全記号を理解してください



注意： 感電の危険を低くするため、カバー（または背面）を取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。認定された修理担当者に修理を依頼してください。



この記号は、高電圧が内部に存在することを示しています。本製品の内部に接れることは危険です。



この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書が本製品に同梱されていることを警告します。

注意： FCC/CSA 規制では、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があることを宣言しています。

注意： 感電防止のため、幅広スロットにプラグの幅広ブレードを合わせ、プラグを根元まで差し込みます。

火災または感電事故の原因となる可能性のある損傷を防ぐため、雨または湿気に本装置をさらさないでください。

コンセントを装置の近くに設置し、簡単に抜き差しできるようにする必要があります。



パブリックインフォメーションディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください：

- 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で洗浄する必要がある場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- 電源ケーブルを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 重要：ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「残像」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると残像時間と共に徐々に消えます。残像症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。

重要な安全上の注意

- 取扱説明書の指示をお読みください。
- 取扱説明書の指示を守ってください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- 水の近くでこの装置を使用しないでください。
- 清掃は常に乾いた布で行ってください。
- 通気口を塞がないでください。メーカーの指示に従って設置してください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他熱を発生する装置(アンプを含む)の近くに設置しないでください。
- 有極プラグ、またはアースプラグの目的にそぐわない使い方をしないでください。有極プラグは一方が他方より幅広い二種類のブレードからなります。アースプラグには2つのブレードと3本めの接地用の差し込み先があります。幅の広いブレードまたは3本めの差し込み先は安全のためのものです。付属のプラグがコンセントの形状に合わない場合は、旧式のコンセントの交換について電気技術者にお問い合わせください。
- 電源コードを踏みつけたり、特にプラグ、コンセントおよび製品との接続部分を挟んだりしないようご注意ください。
- メーカーが指定した付属品 / アクセサリーのみをお使いください。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルはメーカーが指定したもまたは装置の付属品として販売されたもののみをお使いください。カートを使用する際は、転倒による怪我を避けるため、カートと装置の移動にご注意ください。
- 雷のとき、または長期間使用しない場合は、装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 認定されたサービス員にすべての修理を依頼してください。電源コードもしくはプラグが損傷した、液体や物が装置内に侵入した、雨や湿気に装置が晒された、正常に動作しない、装置を落下させたなど、装置がなんらかの形で損傷した場合は修理が必要です。



- 警告:** 火災または感電の危険を減らすため、雨または湿気に本製品を曝さないでください。
- 警告:** 装置を滴や飛散に曝さないでください。また、花瓶などの液体の入った物体を装置の上に置かないでください。
- 警告:** 電池(取り付けられた電池)を、直射日光、炎など、高温にさらさないでください。
- 警告:** 差込プラグまたは電源接続器は断路装置として使用されます。断路装置は、いつでも操作できるようになっています。
- 警告:** 火災の拡大を防止するために、常に、ろうそくまたはその他の裸火を本製品に近づけないでください。



- 警告:** 怪我を避けるため、本装置を設置説明書に従って床 / 壁に取り付けなければなりません。
- 注意:** これらの保守手順は、資格のあるサービス担当者のみが使用するためのものです。資格がある場合を除き、感電の危険を減らすため、取扱説明書に記載されている以外の保守を実行しないでください。

注意: イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、難聴を引き起こす可能性があります。イコライザーを最大に調整することで、イヤホンおよびヘッドホンの出力電圧と音圧レベルを上昇させます。したがって、聴覚を保護するために、適切なレベルにイコライザーを調整してください。

UL/CUL アプリケーションの場合: 最小重量 / 荷重を持つ UL に記載された壁取り付けブラケットでのみ使用する場合: 8.7 Kg

CB アプリケーションの場合: ベースを除く装置の重量: 8.7 Kg。装置および関連する取り付け手段は、テスト中も安全なままです。(使用する壁マウントキット: 10mm の長さの M6 ねじを使用する 400x400mm と 200x200mm の距離 + マウントブラケットの厚み。

重要な情報

テレビが十分に安定した位置に配置されていない場合、落下により危険が生じる可能性があります。多くの怪我、特にお子様の怪我は、以下のような簡単な予防措置をとることで回避することができます: テレビのメーカーが推奨するキャビネットまたはスタンドを使用します。

- テレビを安全にサポートすることができる家具を使用します。
- テレビがサポートする家具のエッジを越えていないことを確認します。
- 適切なサポートに家具およびテレビの両方を固定せずに背の高い家具(例えば、食器棚や本棚)にテレビを置いてはいけません。
- テレビとサポートする家具の間に配置した布または他の材質の上にテレビを立てないようにしてください。
- テレビまたはそのリモコンに到達するために家具に上ることの危険についてお子様を教育してください。

EAC

規制情報

CE 適合宣言

- EN 60065:2002+A1:2006+A11:2008+A2:2010+A12:2011(情報技術機器の安全要件)。
- EN55022:2010+AC:2011(クラス A ㄻ 情報技術機器の電波障害要件)。
- EN55024:2010 (情報技術機器の電磁波耐性要件)。
- EN61000-3-2:2006 +A1:2009+A2:2009 (高調波電流放射の制限)。
- EN61000-3-3:2013 (電圧変動フリッカーの制限)
- EN 50581:2012 (危険物質の制限に関する電気および電子製品の技術文書)

本装置は、電磁両立性(2004/108/EC)、低電圧指令(2006/95/EC)および RoHS 指令(2011/65/EU)に関連する加盟国の法律の概要についての理事会指令に定める要件に適合します。

2016 年 4 月 20 日から以下の指令が有効になります。

電磁両立性(2014/30/EU)、低電圧指令(2014/35/EU)および RoHS 指令(2011/65/EU)。

警告

これはクラス A 製品です。住宅環境において、本製品は、ユーザーが適切な対策を取る必要がある無線干渉を引き起こす可能性があります

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テストおよび認定通知用の研磨センター

装置は、付属の保護回路 (三叉のソケット) の付いたソケットから電力を取る必要があります。共に作動するすべての装置 (コンピュータ、ディスプレイ、プリンタなど) は、同じ電源装置を使用する必要があります。

部屋の電気設備の位相整合導体は、16 アンペア (A) 以下の公称値を持つヒューズの形の予備の短絡保護デバイスを使う必要があります。

装置を完全にオフに切り替えるには、電源ケーブルを装置の傍に取り付けられ容易に手の届く電源コンセントから取り外す必要があります。

保護マーク「B」は、装置が標準の PN-93/T-42107 と PN-89/E-06251 の保護使用要件に準拠していることを確認します。

電気、磁気、電磁場 (EMF)

1. 当社は消費者をターゲットとした多くの製品を製造し販売しており、他の電子装置同様、一般に電磁信号を放出し受け取る能力があります。
2. 主なビジネス原則の 1 つは、当社製品に対して必要なすべての健康的で安全な措置を講じる一方で、該当するすべての必要要件に適合し、製品の製造時に該当する EMF 基準を超えないということです。
3. 当社は健康に悪影響を及ぼさない製品を開発し、製造し販売することに全力で取り組んでいます。
4. また、製品が使用目的に従って適切に扱われる場合、今日分かっている科学的証拠に従って安全に使用できることを確認しています。
5. また、国際的 EMF と安全基準の開発に積極的な役割を果たして、製品の早期統合のためのさらなる開発に先駆けて着手しています。

使用済み後の廃棄

新しい公共情報ディスプレイには、リサイクルされ再利用できる材料が含まれています。専門企業が製品を再利用し、再利用可能素材の量を増やし、廃棄量を最小限に抑えます。

最寄りの Philips 販売店から、古いディスプレイを破棄する方法に関する地方条例の情報をお尋ねください。

廃電気電子機器 -WEEE

欧州連合の個人の住宅のユーザーへの注意



製品またはそのパッケージにあるこの印は、使用済み電気 / 電子機器に関する欧州指令「2012/19/EU」の下、この製品は通常の家廃棄物として処分できないことを示すものです。指定の電気 / 電子機器回収機構を利用し、この機器を処分することはあなたの責任となります。このような電気 / 電子廃棄物を捨てる場所については、お住まいの地域の官庁、廃棄物処理業者、製品を購入した小売店にお問い合わせください。

使用済み指令 - リサイクル



新しい公共情報ディスプレイには、新しいユーザーのためにリサイクルできるいくつかの材料が含まれています。

すべての現地法、州法および連邦法に従って廃棄してください。

有害物質の制限に関する声明(インド)

本製品は、「インド電子廃棄規則」に準拠し、規則のスケジュール 2 に設定された免除を除いて、0.1 重量パーセントを超える鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニルまたはポリ臭化ジフェニルエーテル、および 0.01 重量パーセントを超えるカドミウムの使用を禁止します。

目次

1.	開梱と設置	1	4.5.2.	ムービー ファイルの再生	16
1.1.	開梱	1	4.5.3.	写真ファイルの再生	17
1.2.	梱包箱に含まれるもの	1	4.6.	Opera ブラウザ (HTML5) の使い方	17
1.3.	設置に関する注意	1	5.	設定を変更するには	18
1.4.	壁に取り付ける	2	5.1.	設定(つながっている信号によって表示される OSD メニューが異なる場合があります。)	18
1.4.1.	VESA 規格取付穴	2	5.1.1.	画像	18
1.5.	リモコンセンサーと電源インジケーターの使用	3	5.1.2.	サウンド	19
5.1.3.			5.1.3.	Ambilight (アンビライト)	19
2.	各部の機能	4	5.1.4.	タイル	19
2.1.	コントロールパネル	4	5.1.5.	ネットワーク	20
2.2.	入力 / 出力端子	5	5.1.6.	Storage (ストレージ)	21
2.3.	リモコン	6	5.1.7.	全般設定	21
2.3.1.	各ボタンの役割	6	5.1.8.	ウェブコントロール	24
2.3.2.	リモコン ID	7	6.	USB デバイス互換性	28
2.3.3.	リモコンに乾電池を挿入する	8	7.	入力モード	30
2.3.4.	リモコンの取り扱い	9	8.	画素欠陥ポリシー	31
2.3.5.	リモコンの動作範囲	9	8.1.	画素とサブ画素	31
3.	外部機器を接続する	10	8.2.	画素欠陥の種類 + ドット定義	31
3.1.	外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続	10	8.3.	明るいドット欠陥	31
3.1.1.	コンポーネントビデオ入力の使用	10	8.4.	暗いドット欠陥	32
3.1.2.	ビデオソース入力の使用	10	8.5.	画素欠陥の近接	32
3.1.3.	HDMI ビデオ入力の使用	11	8.6.	画素欠陥の許容範囲	32
3.2.	PC の接続	11	8.7.	MURA	32
3.2.1.	VGA 入力の使用	11	9.	清掃とトラブルシューティング	33
3.2.2.	DVI 入力の使用	11	9.1.	清掃	33
3.2.3.	HDMI 入力の使用	12	9.2.	トラブルシューティング	34
3.3.	オーディオ機器の接続	12	10.	技術仕様	35
3.3.1.	外部オーディオ装置の接続	12	11.	外形図	36
3.4.	デジチェーン構成で複数のディスプレイを接続する	13			
3.4.1.	ディスプレイコントロール接続	13			
3.5.	IR パススルー接続	13			
3.6.	ケーブルを使ったネットワーク接続	13			
4.	取り扱い	14			
4.1.	接続されたビデオソースから鑑賞する	14			
4.2.	画像フォーマットを変更する	14			
4.3.	ローカルエリア ネットワークを經由してマルチメディア ファイルを再生する	14			
4.3.1.	ネットワークの設定	14			
4.3.2.	DLNA-DMP の使い方	15			
4.3.3.	PC から DLNA-DMR を使うには	15			
4.4.	USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する	16			
4.5.	再生オプション	16			
4.5.1.	音楽ファイルの再生	16			

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- 本ディスプレイは、標準アクセサリと共に専用の箱に梱包されています。
- オプションのアクセサリは、別途ご購入が必要です。
- 本ディスプレイは、サイズが大きく重いので、2人以上でお運び下さい。
- 開梱後、内容物に不足がなく、状態に問題がないことをご確認下さい。

1.2. 梱包箱に含まれるもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください：

- LCD ディスプレイ
- クイックスタートガイド
- リモコン(単4乾電池)
- 電源コード (1.8 m)
- RS232 ケーブル (3 m)
- RS232 デイジーチェーンケーブル (1.8 m)
- ロゴガイダー
- Philips ロゴ
- D-sub ケーブル (4m)



* 付属電源コードは目的地によって異なります。



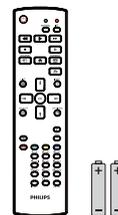
電源コード



RS232 デイジーチェーンケーブル



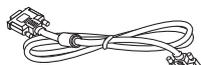
Philips ロゴとロゴガイダー



リモコンと単4乾電池



RS232ケーブル



D-sub ケーブル

メモ：

- 他のすべての地域の場合、コンセントの AC 電圧に一致し、特定の国の安全規制により承認され適合する電源コードを利用してください。
- ディスプレイを送送するために、段ボール箱と梱包材料を捨てずに保管するようにお勧めします。

1.3. 設置に関する注意

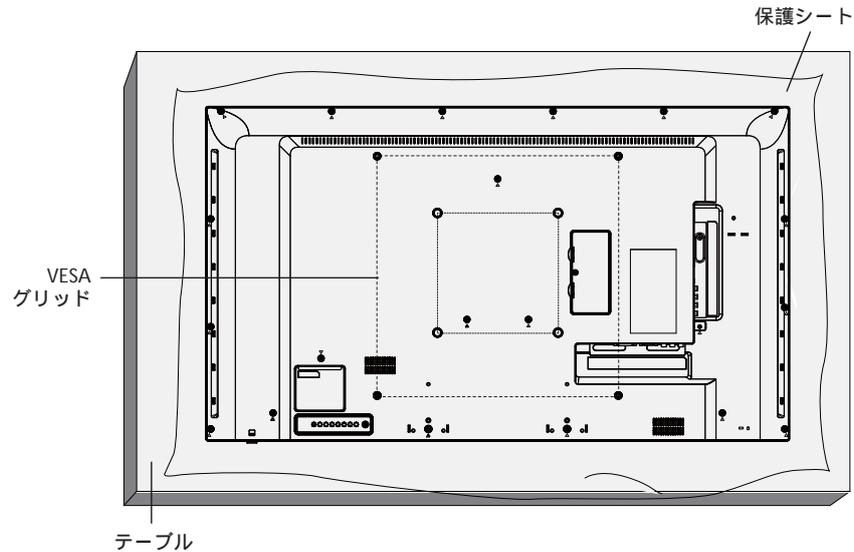
- 消費電力量の多い製品ですので、本ディスプレイ用に設計された専用の電源プラグをご使用下さい。コードの延長が必要な場合は、代理店または設置サービス事業者にご相談下さい。
- 本ディスプレイを設置する場合は、傾斜面を避け、平らな面に設置して下さい。ディスプレイの背面と壁は、適度に空気が循環する距離を保つ必要があります。使用している電子部品の寿命を短縮する恐れがあるため、本ディスプレイを台所や浴室など湿度の高い場所に設置しないで下さい。
- 本製品は、標高 3,000m 以下での使用を想定しています。標高 3,000m 以上で使用する場合、何らかの異常が生じる可能性があります。

取扱説明書の最新版並びに各種関係ソフトウェアの最新版は、
以下 URL にアクセスして頂き、ダウンロードして入手をお願い致します。
ご不明な点は Philips サポートセンターへお問い合わせください。

URL <http://www.philips.co.jp/>

1.4. 壁に取り付ける

本ディスプレイを壁に取り付けるには、標準の壁掛け用取付金具(市販品)を購入する必要があります。



1. 梱包時に本ディスプレイを覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 壁掛け用取付金具、天井用取付金具、テーブルスタンドなどに不足がないかご確認下さい。
3. 取り付けにあたっては取付金具に同梱の説明書をよくお読み下さい。取付手順を誤ると、破損や作業者の怪我につながる恐れがあります。誤った取付方法が原因で生じた破損は、当社の保証の対象外となりますので、ご注意下さい。
4. 壁掛け用取付金具には、M6 取付ねじ(取付ブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの)を使用し、しっかりと固定して下さい。
5. ベースを除く装置の重量 = 8.7 kg。装置および関連する取り付け手段は、テスト中も安全なままです。最小重量 / 荷重を持つ UL に記載された壁取り付けブラケットでのみ使用する場合 : 8.7 kg。

1.4.1. VESA 規格取付穴

BDL4335QL	400(H) x 400(V) mm
	200(H) x 200(V) mm

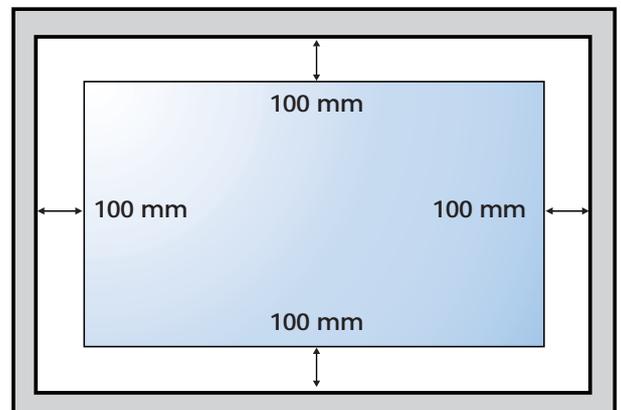
注意:

本ディスプレイの落下を防止するために:

- 本ディスプレイをしっかりと固定できる取付金具をお選び下さい。設置方法については、取付金具に同梱の取扱説明書をご参照下さい。
- 地震などの天災発生時の製品落下による破損や怪我を最小限に抑えるため、設置については取付金具メーカーや設置サービス事業者にご相談の上、行って下さい。

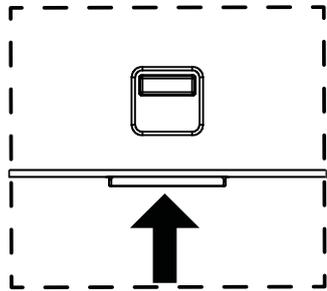
設置場所を決める際の換気要件

熱がこもるのを防ぐため、右図のように、ディスプレイの周囲に十分なスペースを確保して下さい。

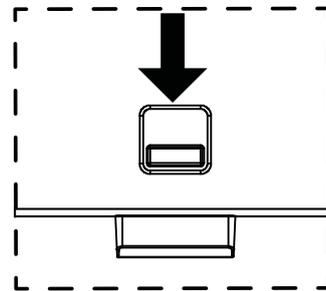


1.5. リモコンセンサーと電源インジケータの使用

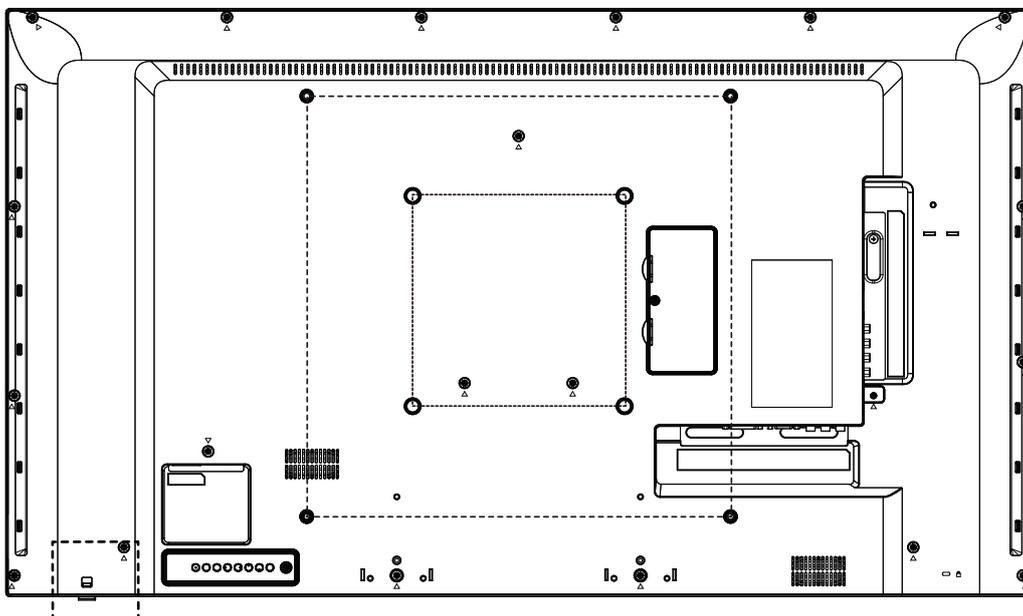
1. レンズを下に押し出すとリモコン操作の感度が上がり、また受光ランプの色の違いを簡単に見分けることができ、ステータス情報を判別することができます。
2. ビデオウォールを組む前に、レンズを上を押して収納してください。
3. レンズを収納(もしくは押し出す)時にはカチッと音がするまでレンズを動かしてください。



上に押して、レンズをたたみます

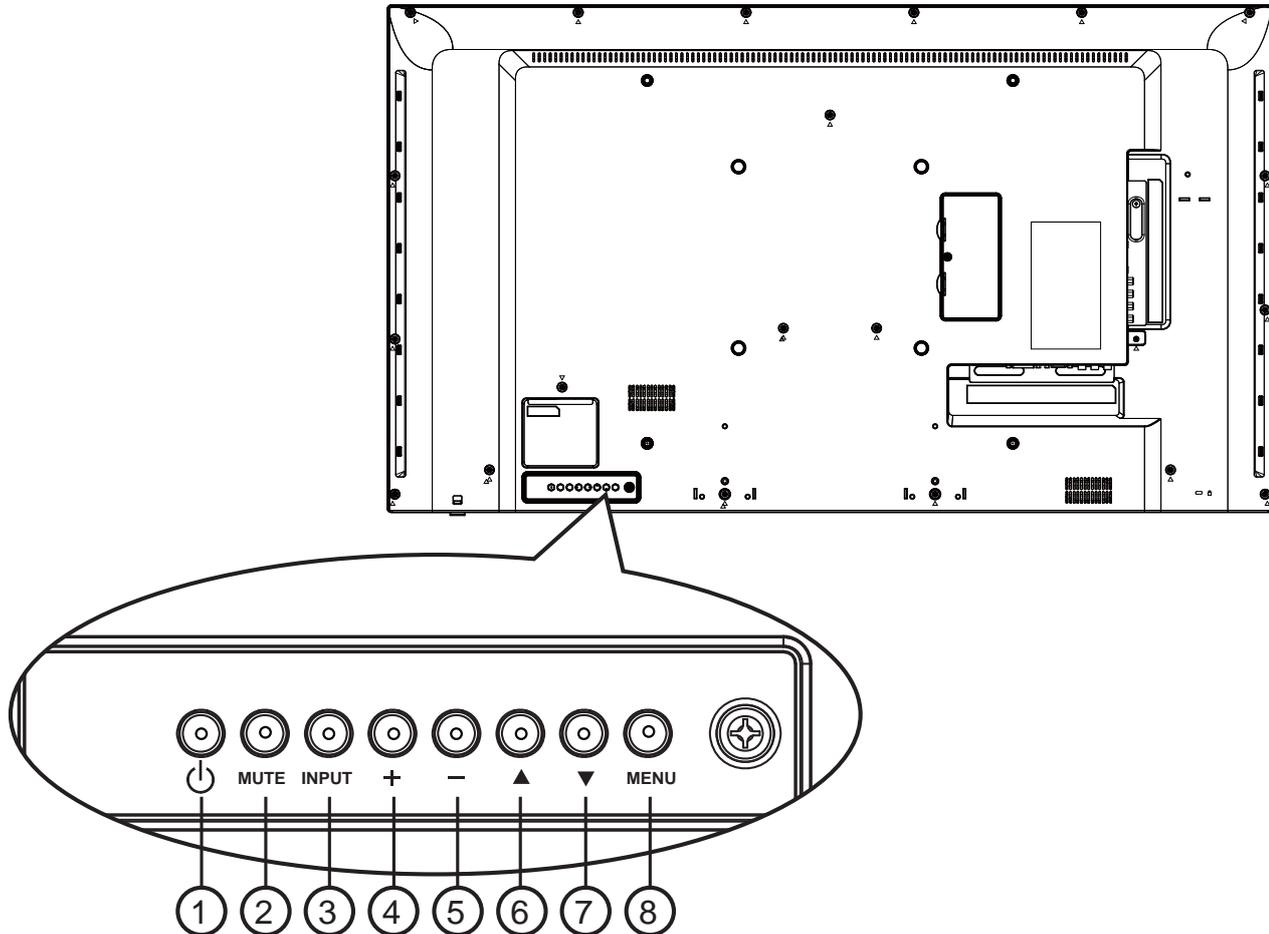


下に押して、レンズを伸ばします



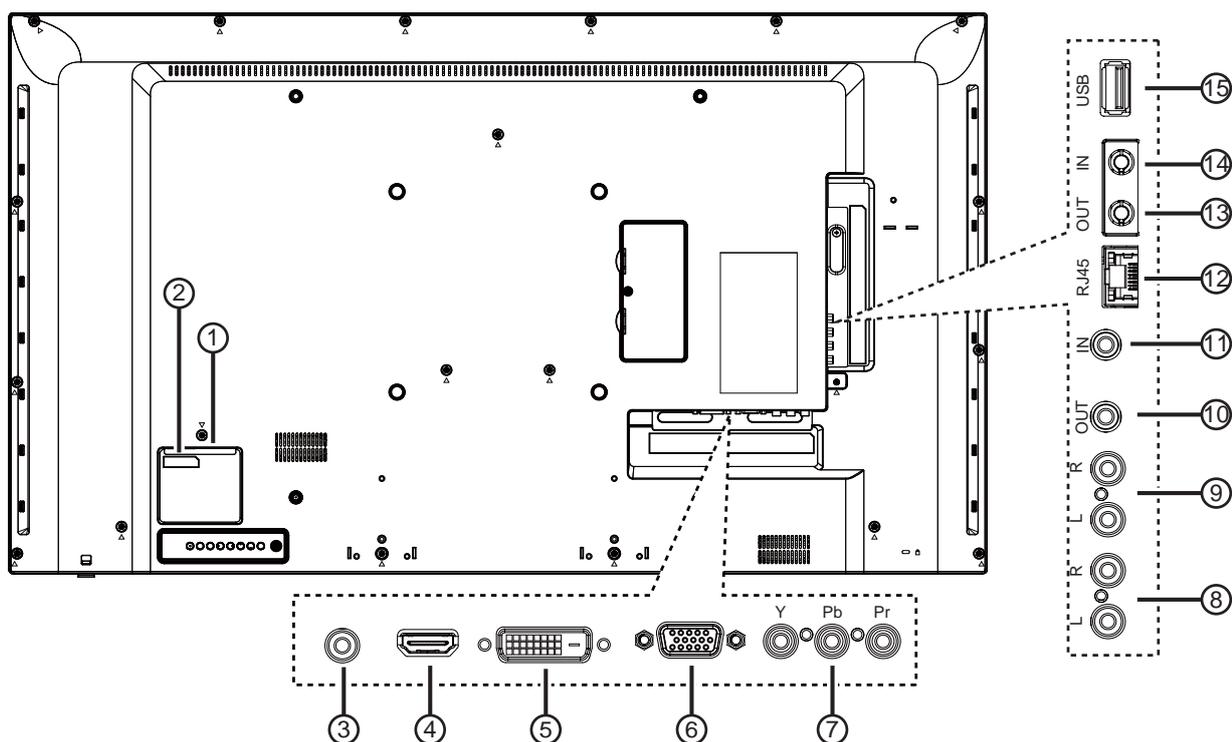
2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



- ① **【】 ボタン**
ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。
- ② **【消音】 ボタン**
音声の消音オン / オフを切り替えます。
- ③ **【入力】 ボタン**
入力ソースを選択します。
・ オンスクリーン ディスプレイ メニューでは **【OK】** ボタンとして使用します。
- ④ **【+】 ボタン**
OSD メニューが ON の時には調整を上げ、OSD メニューが OFF のときには、音声出力レベルを上げます。
- ⑤ **【-】 ボタン**
OSD メニューが ON のときには調整を下げ、OSD メニューが OFF のときには音声出力レベルを下げます。
- ⑥ **【▲】 ボタン**
OSD メニューが ON のとき、選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを上げます。
- ⑦ **【▼】 ボタン**
OSD メニューが ON のとき、選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを下げます。
- ⑧ **【メニュー】 ボタン**
OSD メニューがオンになっている間に前のメニューに戻るか、OSD メニューがオフになったら OSD メニューをアクティブにします。

2.2. 入力 / 出力端子



- ① 主電源スイッチ
主電源のオン / オフを切り替える。
- ② AC 入力
壁コンセントからの AC 電源入力。
- ③ 音声入力(ステレオミニジャック)
VGA ソースからの音声入力 (3.5mm ステレオ電話)。
- ④ HDMI(Ver1.4)入力
HDMI ビデオ / 音声入力。
- ⑤ DVI-D 入力
DVI-D ビデオ入力。
- ⑥ VGA 入力 (D-Sub)
VGA ビデオ入力。
- ⑦ Y/CVBS
ビデオソース入力。
- ⑧ 音声入力
内部 AV デバイスからの音声入力 (RCA)。
- ⑨ 音声出力
外部 AV 機器への音声出力。
- ⑩ IR 出力 / ⑪ IR 入力
ループスルー機能向けの IR 信号出力 / 入力。

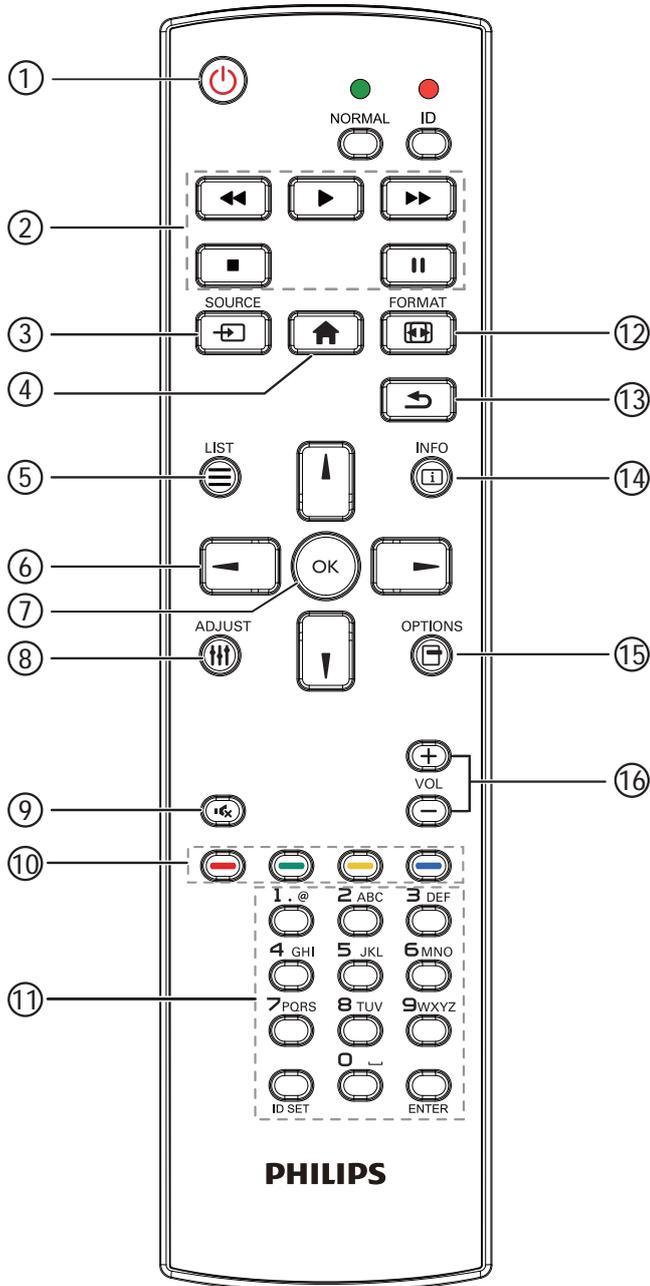
メモ:

- ジャック [IR 入力] が接続されている場合、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。
- 本製品を使ってお持ちの AV 機器をリモート操作するには、12 ページまたは IR パススルー接続を参照してください。

- ⑫ RJ-45
コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。
- ⑬ RS232C 出力 / ⑭ RS232C 入力
ループスルー機能向けの RS232C ネットワーク出力 / 入力。
- ⑮ USB ポート
USB ストレージデバイスを接続します。
- ⑯ ケンジントンロック
安全および盗難防止用に使用します。

2.3. リモコン

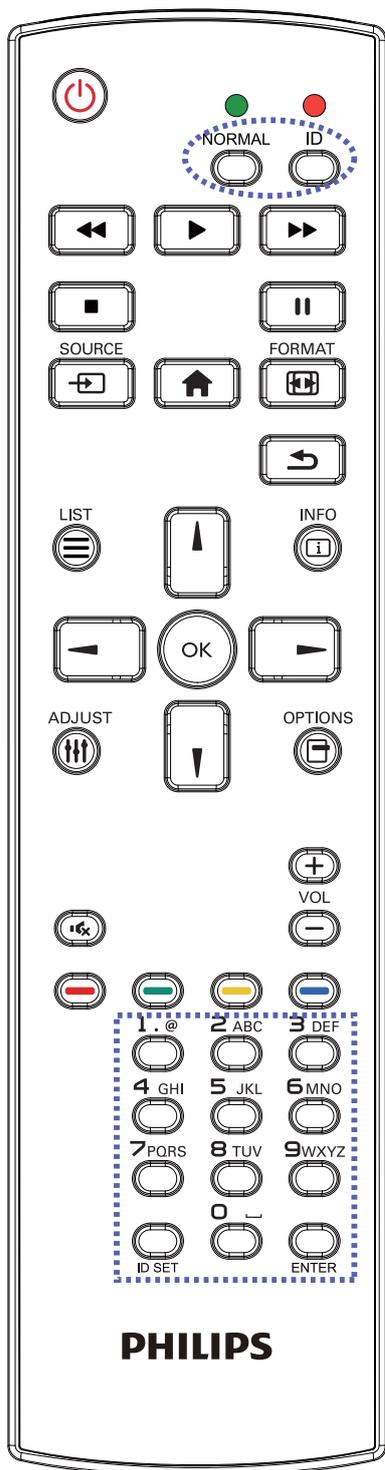
2.3.1. 各ボタンの役割



- ① [] 電源ボタン
ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。
- ② [Play] ボタン
メディアファイルの再生を操作します。
- ③ [] ソースボタン
入力ソースを選択します。[] または [] ボタンを押して、**USB**、ネットワーク、インターネット、**SmartCMS**、**CVBS**、**YPbPr**、**VGA**、**HDMI** および **DVI-D** から選択します。
[OK] ボタン押して、確認・終了します。
- ④ [] ホームボタン
OSD メニューにアクセスします。
- ⑤ [] リストボタン
使用しません。
- ⑥ [] [] [] [] [] NAVIGATION ボタン
メニューを移動して項目を選択します。
- ⑦ [OK] ボタン
入力または選択を確定します。
- ⑧ [] 調整ボタン
現在選択可能なオプションを操作します。
画像および音声メニュー用。
- ⑨ [] 消音ボタン
消音機能をオン / オフで切り換えます。
- ⑩ [] [] [] [] 色ボタン
タスクやオプションを選択します。
- ⑪ [番号 / ID 設定 / 入力] ボタン
ネットワーク設定の際にテキストを入力します。
ここを押して、ID を設定します。詳細については 2.3.2. リモコン ID を参照してください。
- ⑫ [] 形式ボタン
画像フォーマットを変更します。
- ⑬ [] 戻るボタン
以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。
- ⑭ [] 情報ボタン
現在実行しているアクティビティの情報を表示します。
- ⑮ [] オプションボタン
現在選択可能なオプションを操作します。画像および音声メニュー用。
- ⑯ [] [] 音量ボタン
音量を調節します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイの中の 1 つでこのリモコンを使用する場合には、リモコン用 ID を設定できます。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID SET] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
[ID SET] ボタンを再度押すと、ID モードを離れます。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例：ディスプレイ番号 1 では、[0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では、[1] と [1] を押してください。

使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを離れます。
3. 数字以外のボタンを押してエラーが生じた場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [Enter] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記：

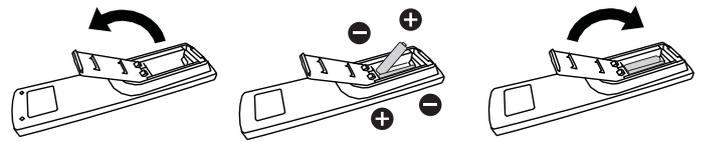
- [Normal] ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に各ディスプレイに対する ID 番号を設定することが必要です。

2.3.3. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

以下に従い、乾電池を入れて下さい：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて、乾電池を入れてください。
3. カバーを閉じてください。



注意：

乾電池を間違っで使用すると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従ってください：

- 「単 4 乾電池」の各乾電池の (+) と (-) 記号が、バッテリー収納部の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- 新しい乾電池と中古乾電池を一緒に使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- 切れた乾電池は乾電池収納部に液漏れする原因となるため、直ちに取り出してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池の漏れた酸に触れないでください。

注記： 長期間リモコンを使用する予定がない場合、乾電池を取り出してください。

2.3.4. リモコンの取り扱い

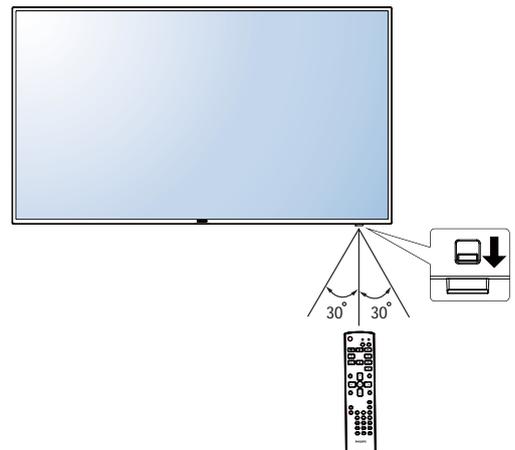
- 強い衝撃を与えないでください。
- 水などの液体をリモコンにかけないでください。リモコンがぬれたときには、直ちに拭いて乾かしてください。
- 熱と蒸気を避けてください。
- 乾電池を入れるとき以外は、リモコンを開けないでください。

2.3.5. リモコンの動作範囲

ボタンを押すとき、リモコンの前部をこのディスプレイのコントロールセンサーに向けてください。

ディスプレイのセンサーから 5 メートル (16 フィート) より近い距離で、水平方向と垂直方向 30 度未満の範囲内でリモコンを使用してください。

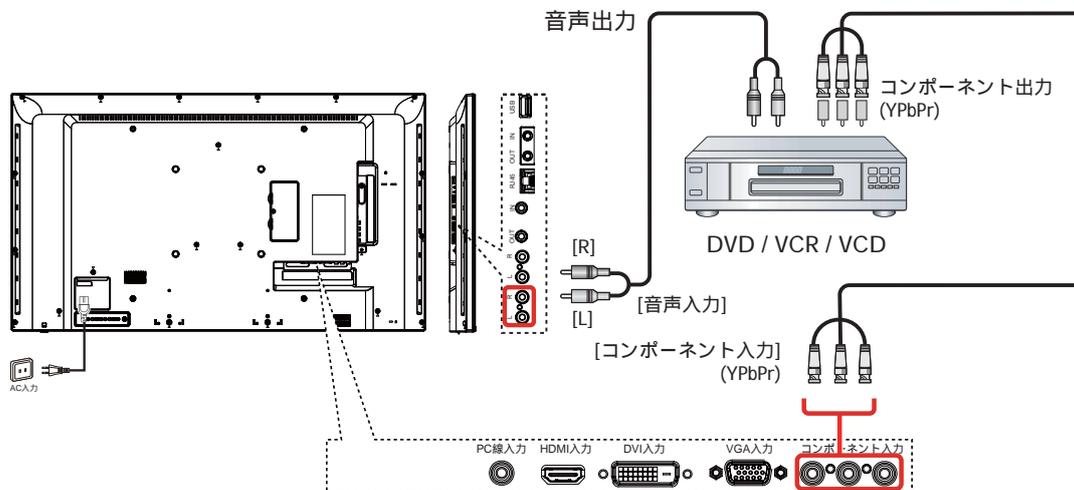
注記： ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明浴びていたり、または信号の経路に障害物がある場合には、リモコンが適切に作動しないことがあります。



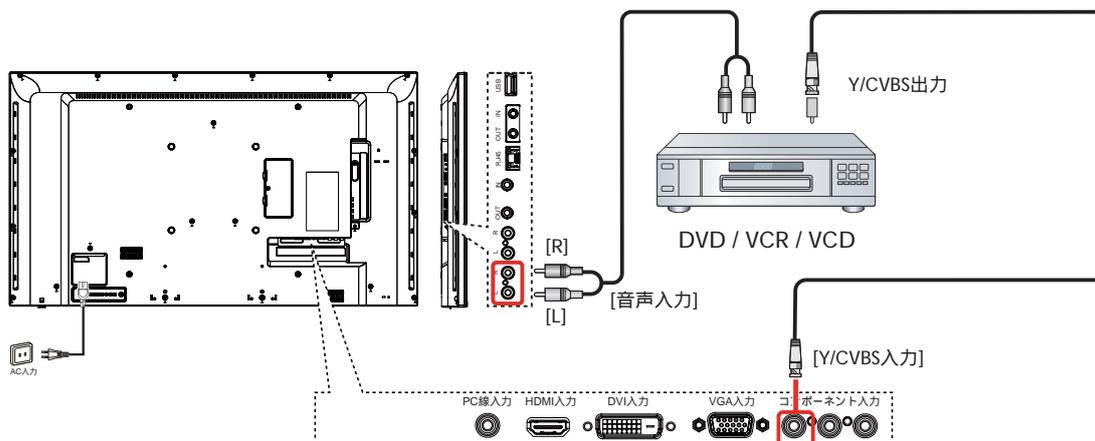
3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

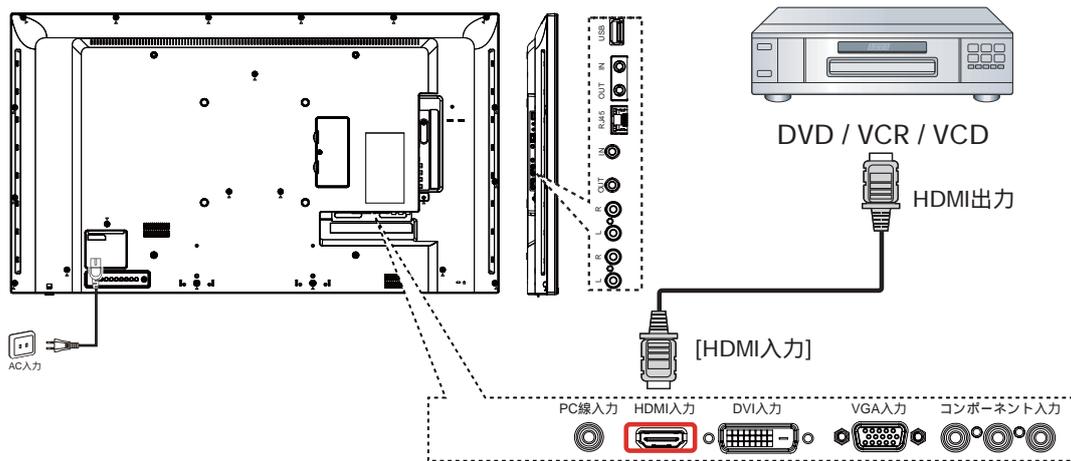
3.1.1. コンポーネントビデオ入力の使用



3.1.2. ビデオソース入力の使用

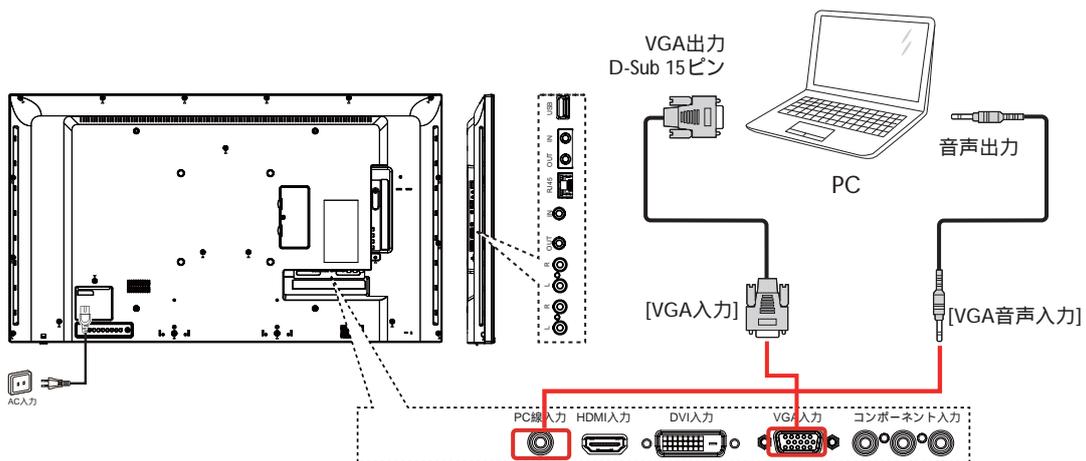


3.1.3. HDMI ビデオ入力の使用

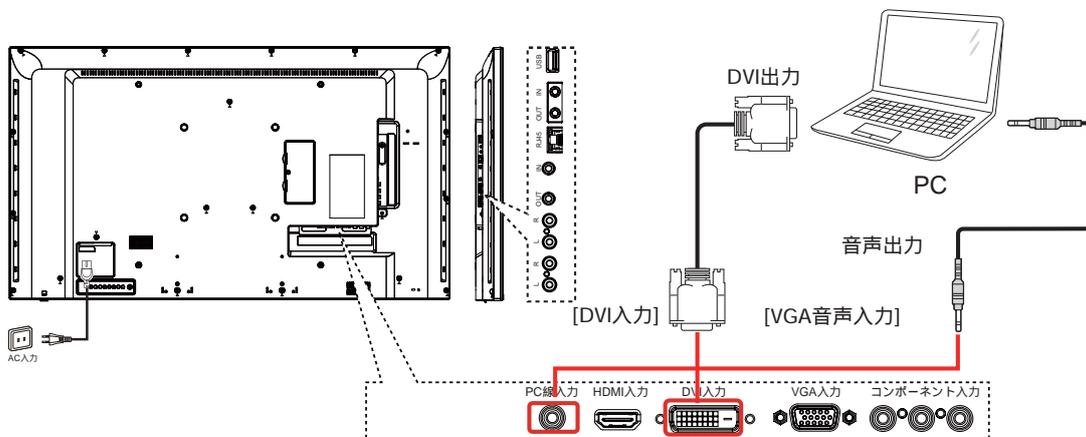


3.2. PC の接続

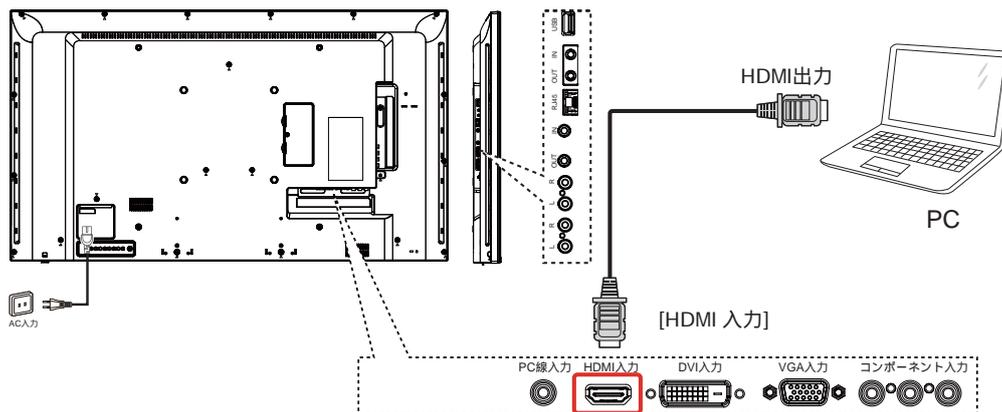
3.2.1. VGA 入力の使用



3.2.2. DVI 入力の使用

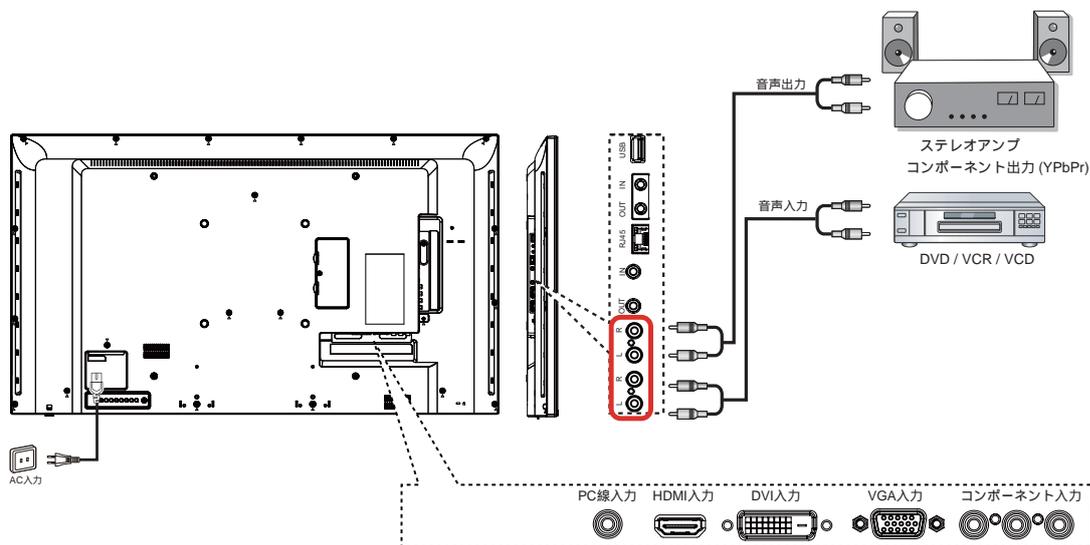


3.2.3. HDMI 入力の使用



3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部オーディオ装置の接続

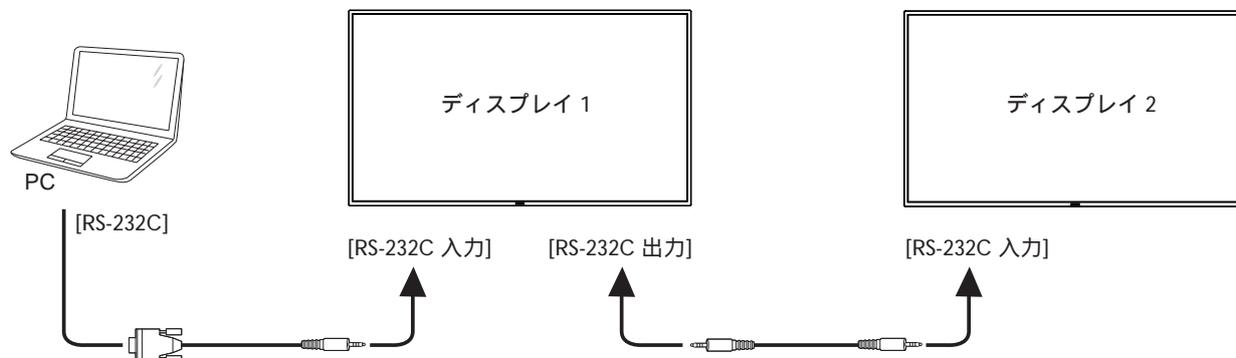


3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

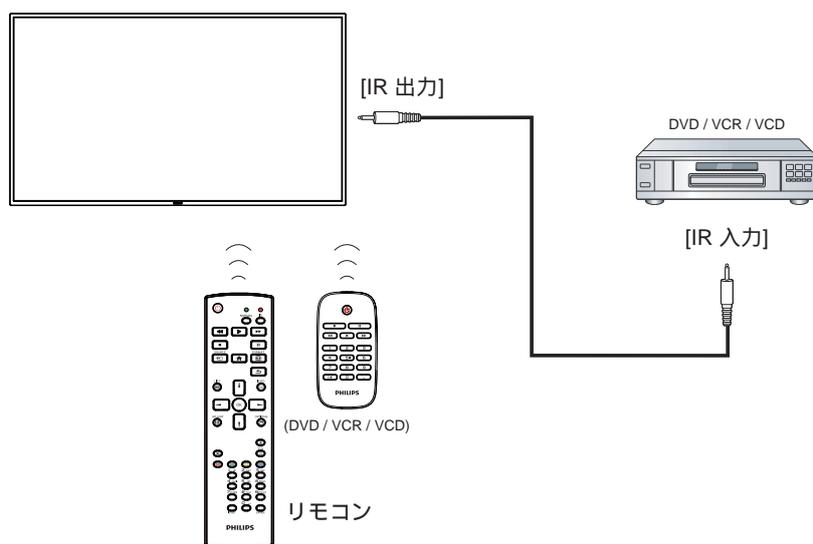
複数のディスプレイを相互接続し、壁掛けビデオなどの用途向けのデイジーチェーン構成を作成することが可能です。

3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ 1 の [RS232C 出力] コネクタをディスプレイ 2 の [RS232C 入力] コネクタに接続します。

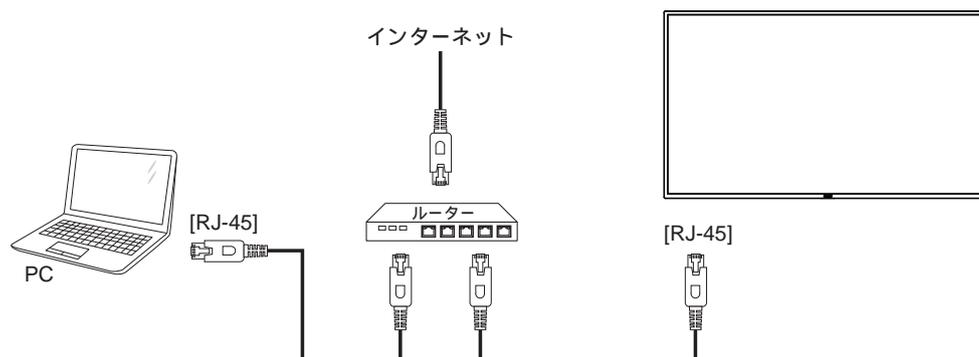


3.5. IR パススルー接続



3.6. ケーブルを使ったネットワーク接続

本製品をホームネットワークに接続すると、お使いのコンピュータから写真や音楽、動画の再生ができます。詳細については「ローカルエリアネットワークを経由してマルチメディア ファイルを再生する」(14 ページ) を参照してください。



ネットワークを設定するには、

1. ルーターの電源を入れ、DHCP 設定を有効にします。
2. イーサネットケーブルを使って、ルーターを本製品に接続します。
3. リモコンの [] ホーム ボタンを押した後に、セットアップ を選択します。
4. ネットワークに接続するを選択して、[OK] ボタンを押します。
5. スクリーン上の説明に従ってネットワークをインストールします。
6. 本製品がネットワーク接続を検出するまで待ちます。
7. 表示があれば、「エンドユーザーライセンス」に同意します。

注記： EMC 指令に準拠するため、シールドされた CAT-5 イーサネットケーブルを使って接続してください。

4. 取り扱い

注記: この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。

4.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する

外部機器の接続に関しては、9 ページを参照してください。

1. [] ソースボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押してデバイスを選択し、[] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります:

1. [] 形式ボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押して画像フォーマットを選択し、[] ボタンを押します。
 - {オートズーム}: スクリーンいっぱいに拡大します。スクリーンの歪みを最小にすることをお勧めします。HD や PC にはご利用できません。
 - {16:9}: 4:3 形式を 16:9 形式に調整します。HD や PC にはご利用できません。
 - {ワイド}: ワイドスクリーン形式を、コンテンツを拡大せずに表示します。HD や PC にはご利用できません。
 - {DOT BY DOT}: PC 画像の細部が最大限に表示されます。{画像}メニューで PC モードを選択した時のみ利用できます。
 - {4:3}: 従来の 4:3 形式で表示します。
 - {CUSTOM ZOOM}: 画像とエッジサブメニューで、カスタマイズズーム設定の適用を選択します。

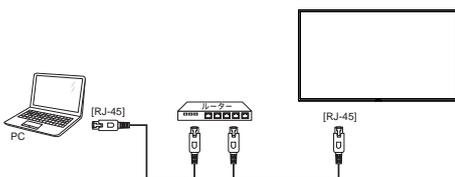
4.3. ローカルエリア ネットワークを經由してマルチメディア ファイルを再生する

ローカルエリア ネットワークを經由してファイルを再生するには、以下が必要です。

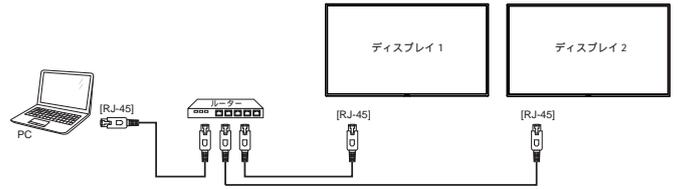
- ホームネットワーク接続。ユニバーサル プラグアンドプレイ (uPnP) 対応ルーターに接続します。
- オプション: 本製品をホームネットワークに接続するための LAN ケーブル。
- コンピュータで稼働するメディアサーバー。
- メディアサーバーを実行可能にするコンピュータのファイアウォール設定の適用。

4.3.1. ネットワークの設定

1. 本製品とコンピュータを同じホームネットワークに接続します。本製品をネットワークに接続するには、下図を参照してください。
2. コンピュータとルーターの電源を入れます。
 - 単一ディスプレイの設定



- 複数ディスプレイでの設定



注記: 外部からの電氣的妨害(例: 静電放電)により本製品が DLNA モードに戻らない場合は、ご自身で戻して頂く必要があります。

メディア共有を設定する

1. メディアファイルを共有するため、コンピュータにメディアサーバーをインストールします。以下はメディアサーバーの一例です:
 - PC 用: Windows Media Player 11 (またはそれ以上) および TVersity
 - Mac 用: Twonky
2. メディアサーバーを使って、コンピュータ上のメディア共有を有効にします。メディアサーバーの詳細な設定方法については、メディアサーバー元のサイトを参照して下さい。

4.3.2. DLNA-DMP の使い方

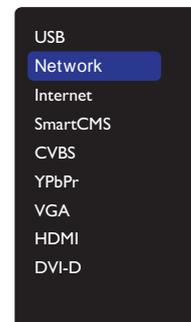
ネットワークに接続していることを確認します。

 ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		26/09/2014 金曜日 09:32:00
画像形式	ワイドスクリーン	
画像スタイル	標準	
サウンドスタイル	パーソナル	
スマートパワー	オフ	
音量	0	
モニタグループ	1	
モニタID	1	
Model name	BDL4335QL	
SWVersion	1.51	
Serial no		
Temperature	25°C	
ネットワーク構成	DHCP と自動 IP	
IP アドレス	192.168.1.116	
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.1.1	
ネットワーク名	BDL4335QL	
Ethernet MAC アドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF	

画面上でファイルを再生する

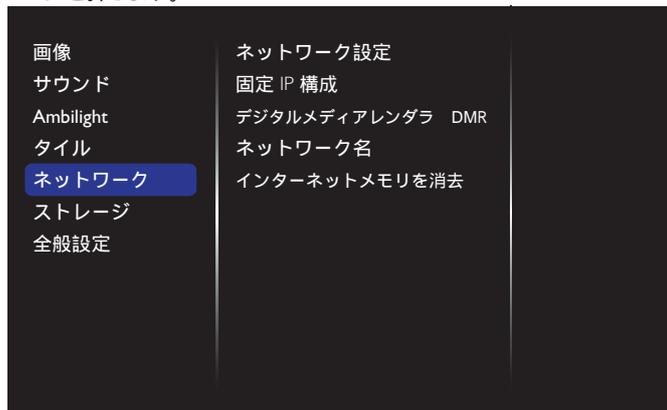
1. [] ソースボタンを押して、ネットワークを選択し [] ボタンを押します。



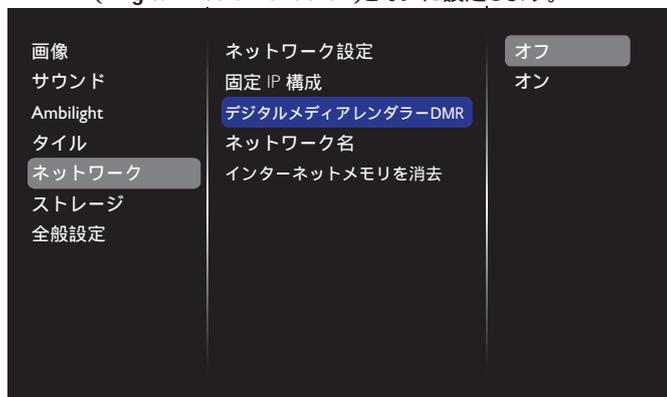
2. スクリーン上に同じルーターに接続されている全ての PC が表示されます。必要な PC を選択します。
3. [] と [] を押して再生するディレクトリとファイルを選択します。
4. 同じ PC に最大 4 台までのディスプレイを接続して、同じメディアストリームを再生することができます。

4.3.3. PC から DLNA-DMR を使うには

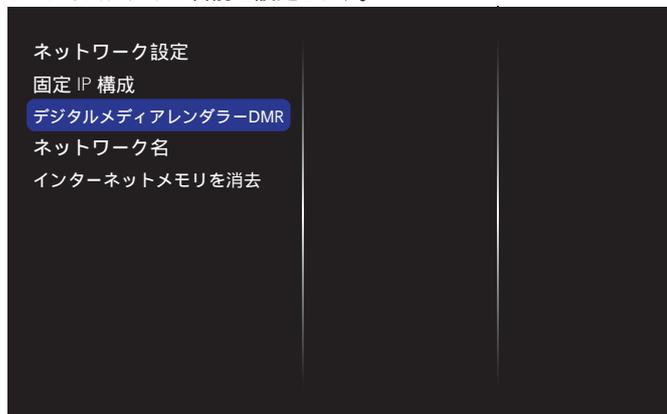
1. [] ホームボタンを押して、ネットワークを選択し [**OK**] ボタンを押します。



2. DMR(Digital Media Renderer)をオンに設定します。



3. ディスプレイの名前を設定します。



4. OSD メニューを終了するには、[] ホームボタンを押します。
5. PC 上でネットワークと共有センターを開いてホームグループと共有に関するオプションの選択をクリックします。
6. メディア形式を確認します。メディア ストリーミング オプションの選択 ... をクリックします。
7. 共有の詳細設定を開き、ネットワーク探索を有効にするを選択します。

8. 次に、メディアファイルの保存されたディレクトリに移動します。右クリックしてメディアファイルを選択します。リモート再生のサブメニューに、ネットワークに接続されている全てのディスプレイが表示されます。ディスプレイを選択して、再生するメディアファイルをクリックします。

ファイルを再生する

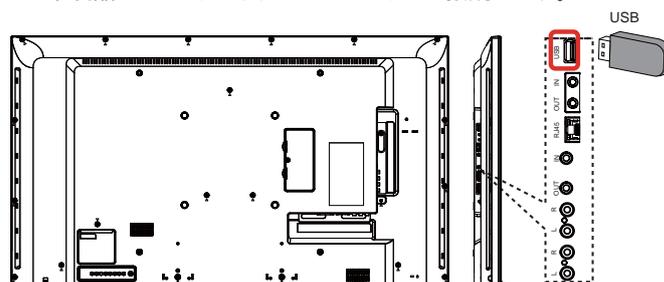
1. [] ソースボタンを押します。
2. ネットワークを選択して [**OK**] ボタンを押します。
3. コンテンツ ブラウザからファイルを選択し、[**OK**] ボタンを押して再生します。
4. 再生を操作するには、リモコン上にある [再生] ボタンを押します。

ヒント :

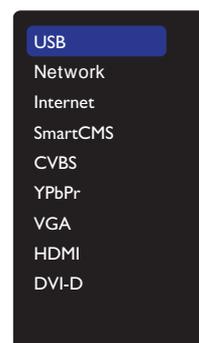
- ファイルの種類でファイルを絞り込むには、トッパーを選択します。
- ソートを選んで、アルバム名やアーティスト名、その他のフィールド毎に並び替えます。
- 接続されていないメディアサーバーを非表示にするには、[] オプションボタンを押します。その後、オフライン サーバーをクリアを選択して [**OK**] ボタンを押します。

4.4. USB デバイスのマルチメディア ファイルを再生する

1. 本製品の USB ポートに USB デバイスを接続します。



2. [] ソースボタンを押して、USB を選択し [**OK**] ボタンを押します。



3. 接続されている USB デバイスが自動的に検出され、中にある再生可能な全てのファイルが 3 つのタイプに自動的に分けられます。🎵 音楽、🎬 ムービー、そして 📷 写真です。
4. スクリーンの最上層に戻るには、[] 戻るボタンを押します。ファイルのタイプを選択するには [] または [] ボタンを押します。再生リストを表示するには [**OK**] ボタンを押します。
5. 必要なファイルを選択します。再生するには [**OK**] ボタンを押します。
6. スクリーン上の説明に従って再生オプションを操作します。

7. [再生] ボタン (H F G I J) を押し再生を操作します。

注記: USB デバイスからマルチメディアファイルを再生したり、ディスプレイをオフにした時、次回ディスプレイをオンにすると CVBS、YPbPr、VGA、HDMI および DVI-D などの最後の実際の入力ソースが設定されます。

4.5. 再生オプション

4.5.1. 音楽ファイルの再生

1. トップバーの  音楽を選択します。



2. 曲を一曲選択して [OK] ボタンを押します。
- フォルダー内にある全ての曲を再生するには、音楽ファイルをひとつ選択します。その後  を押してすべて再生を実行します。
 - 次の曲や前の曲をスキップするには、[↑] または [↓] ボタンを押します。
 - 曲を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう1度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後に 10 秒間スキップするには [←] または [→] ボタンを押します。
 - 順方向や逆方向に検索するには、[G] または [J] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
 - 音楽を停止するには [H] ボタンを押します。

音楽オプション

音楽の再生中に  オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {シャッフル}: 曲のランダム再生を有効または無効にします。
- {リピート}: 曲またはアルバムを繰り返し再生するには {リピート} を選択し、一回のみ再生するには {一回再生} を選択します。
- 注記: 曲の情報 (例: 曲名、アーティスト名、長さ) を表示するには、曲を選択して  情報ボタンを押します。情報を非表示にするには、もう1度  情報ボタンを押します。

4.5.2. ムービー ファイルの再生

1. トップバーの  ムービーを選択します。



2. 動画を選択して [OK] ボタンを押します。
- フォルダー内にある全ての動画を再生するには、動画ファイルをひとつ選択します。その後  を押してすべて再生を実行します。
 - 動画を一時停止するには [OK] ボタンを押します。再生を再開するには、もう1度 [OK] ボタンを押します。
 - 前後に 10 秒間スキップするには [←] または [→] ボタンを押します。
 - 順方向や逆方向に検索するには、[G] または [J] ボタンを押します。異なる速度でトグルするには繰り返して押し続けます。
 - 動画を停止するには [H] ボタンを押します。

Movie オプション

動画の再生中に  オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Subtitles(字幕)}: 使用可能なサブタイトル設定を選択します。
- {Subtitle language(字幕言語)}: 可能な場合、サブタイトルの言語を選択します。
- {Shuffle(シャッフル)}: 動画ファイルのランダム再生を有効または無効にします。
- {Repeat(リピート)}: 動画ファイルを繰り返し再生するには {Repeat} を選択し、動画ファイルを一回のみ再生するには {Play Once} を選択します。
- {Status(ステータス)}: 動画の情報 (例: 再生位置、長さ、タイトル、日付) を表示するには。

4.5.3. 写真ファイルの再生

1. トップバーの  写真を選択します。



2. サムネイル表示された写真を選んで [OK] ボタンを押します。

スライドショーを開始する

フォルダーに写真が複数ある場合は、写真を一枚選択します。その後その後  を押してすべて再生を実行します。

- 前後の写真をスキップするには [←] または [→] ボタンを押してから [OK] ボタンを押します。
- スライドショーを停止するには [H] ボタンを押します。

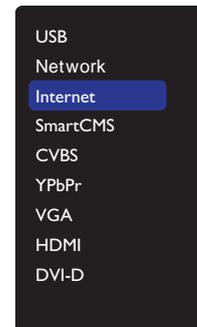
スライドショー オプション

スライドショーの再生中に  オプションボタンを押し、その後 [OK] ボタンを押してオプションを選択します。

- {Shuffle(シャッフル)}: スライドショーでの画像のランダム表示を有効または無効にします。
- {Repeat(リピート)}: スライドショーを繰り返し鑑賞するには {Repeat} を選択し、一回だけ鑑賞するには {Play Once} を選択します。
- {Slideshow Time(スライドショー時間)}: スライドショーで表示する写真の表示時間を選びます。
- {Slideshow Transition}: 次の写真に変わる時の切り替わり方を選びます。

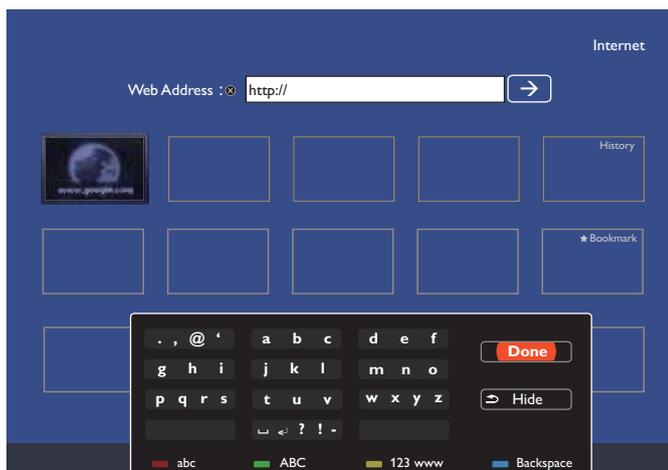
4.6. Opera ブラウザ (HTML5) の使い方

1. ソースボタンを押して、インターネットを選択し、[OK] ボタンを押します。

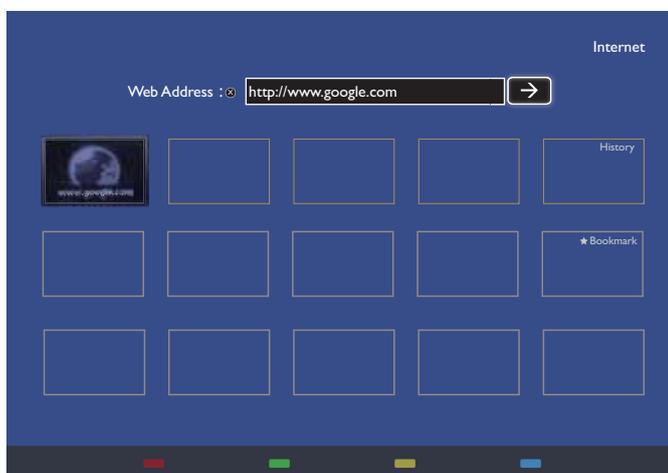


2. カーソルを URL アドレスバーまで移動させます。[OK] ボタンを押すとスクリーン上にキーボードが表示されます。カーソル

ルを動かして URL アドレスを入力します。URL アドレスの入力が終了したら完了を選びます。



3. カーソルを「→」アイコンに移動して「OK」ボタンを押します。



4. これで、ウェブサイトが表示されるようになります。

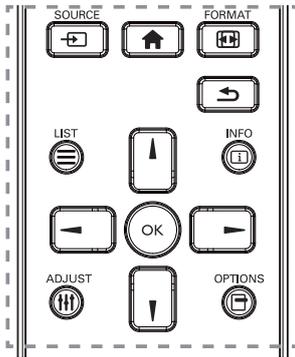


メモ：

- Opera ブラウザは FLASH 形式に対応していません。
- ブラウザを使用する前に、まずネットワークを設定してください。ネットワーク設定を行う場合は、20 ページの「5.1.5. ネットワーク」を参照してください。

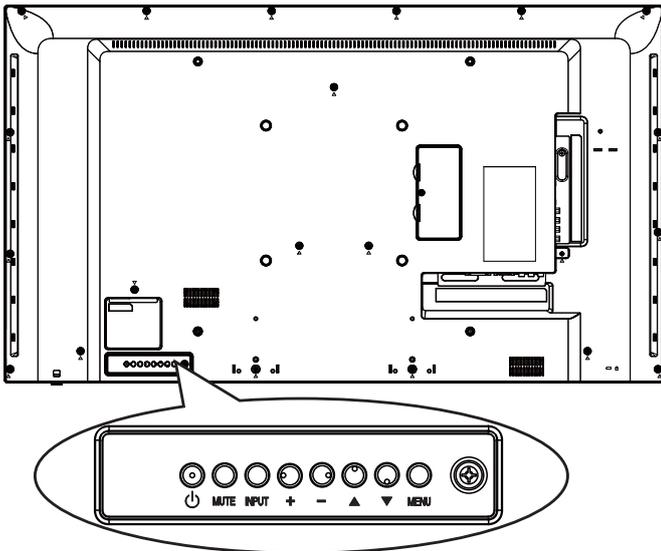
5. 設定を変更するには

リモコンを使用する



1. OSDメニューを表示するには[**HOME**]ホームボタンを押します。
2. [**▲**][**▼**][**←**]または[**→**]ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。[**OK**]ボタンを押して決定します。
3. 前のメニュー層に戻るには[**RETURN**]戻るボタンを押します。
4. OSDメニューを退出するには[**HOME**]ホームボタンを押します。

ディスプレイのコントロール ボタンを使用する

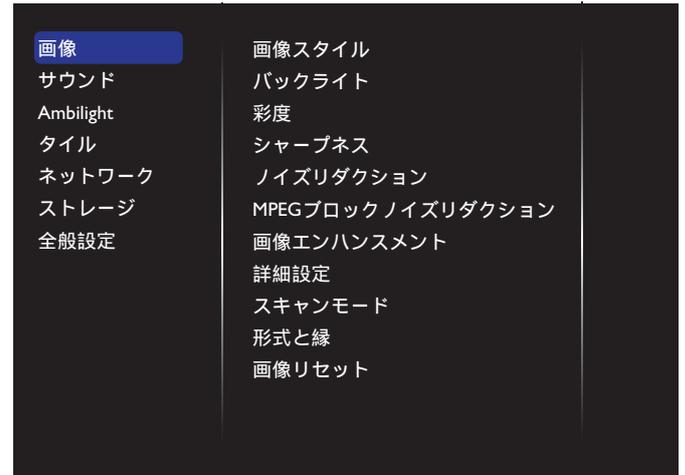


1. OSDメニューを表示するには[**MENU**]ボタンを押します。
2. [**▲**][**▼**][**+**]または[**-**]ボタンを押してメニュー項目を選択、または値を調整します。
3. [**INPUT**]ボタンを押して、選択したメニューを確認し、サブメニューに入ります。
4. OSDメニューを退出するには[**MENU**]ボタンを押します。

5.1. 設定(つながっている信号によって表示される OSD メニューが異なる場合があります。)

[**HOME**]ホームボタンを押します。

5.1.1. 画像



画像スタイル

好みの画像設定を選びます。

バックライト

本製品のバックライトの明るさを調節します。

彩度

画像の彩度を調整します。

シャープネス

画像の鮮明さを調整します。

ノイズリダクション

画像のノイズ除去の度合いを選びます。

MPEG ブロックノイズリダクション

デジタル画像のトランジションやぼやけを滑らかにします。

画像エンハンスメント

周囲の画素に馴染むように全ての画素を微調整することで、鮮明で高解像度な画像を作成します。

- { 高度な鮮明度 } : 優れた画像鮮明度で、特に画像の線や輪郭に有効です。
- { ダイナミックコントラスト } : 画像の暗いエリア、中位のエリア、明るいエリアの詳細をダイナミックに補強します。
- { カラーエンハンスメント } : 色彩の鮮明さと詳細をダイナミックに補強します。

詳細設定

ガンマ、色合い、動画のコントラストなどの詳細設定にアクセスします。

- { ガンマ } : 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。
- { 色温度 } : カラーバランスを変更します。
- { カラーコントロール } : カラーバランスの設定をカスタマイズします。{ 色温度 } → { User } が選択されている場合のみ使用できます。
- { ビデオコントラスト } : 動画のコントラストを調整します。
- { 輝度 } : スクリーンの明るさを調整します。
- { 色相 } : スクリーンの色合いを調整します。

表示調整

画像の表示エリアを変更します。

形式と縁

- { 画像形式 } : 画像フォーマットを変更します。

画像形式に関する記述は 14 ページを参照してください。

入力解像度

VGA 入力の解像度を設定します。これは、本製品が VGA 入力解像度を正しく検出できない場合にのみ必要です。

自動調整

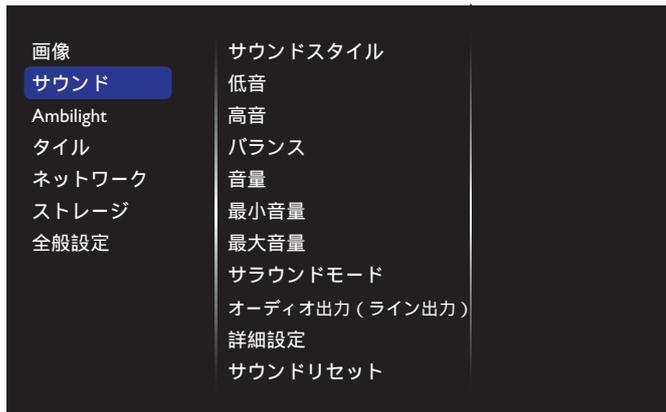
この機能を使用すると、自動的に VGA 入力画像を最適化します。

注記：この項目は VGA 入力のみ機能します。

画像リセット

画像設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.2. サウンド



サウンドスタイル

お好みの音声設定にアクセスします。

低音

低音の増減を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

音量

ボリュームの増減を調整します。

最小音量

最小音量を設定します。

最大音量

最大音量を設定します。

サラウンドモード

オーディオパフォーマンスのサラウンド効果を設定します。

オーディオ出力 (ライン出力)

音声出力の音量を調節します。

詳細設定

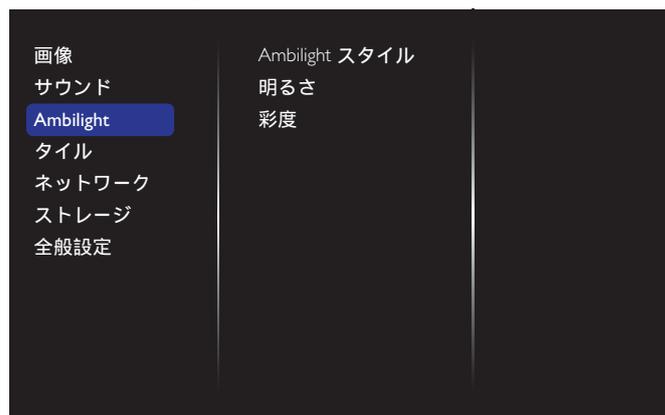
詳細設定にアクセスして視聴体験を向上させます。

- {オートボリューム}: 突発的な音量変更の軽減を有効にします。
- {スピーカー設定}: 内部スピーカーの電源をオンまたはオフにします。
- {クリアサウンド}: 音質を向上させます。

サウンドリセット

デフォルト設定にリセットします。

5.1.3. Ambilight (アンブライト)



Ambilight スタイル

事前定義された Ambilight スタイルを選択します。

明るさ

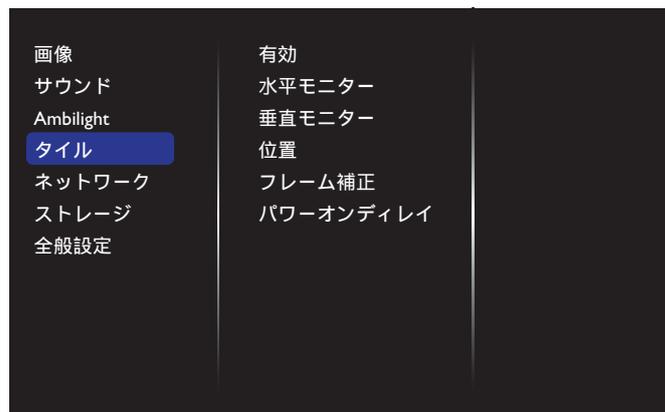
Ambilight の明るさを調整します。

彩度

アンブライトの彩度を調整します。

注記： 放熱の問題のため、周囲光が有効になっている縦長モードでこのディスプレイを使用しないでください。

5.1.4. タイル



この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。

有効

タイル機能の {オン} または {オフ} を選択します。{オン} の場合、本製品は {水平モニター}、{垂直モニター}、{位置}、および {フレーム補正}。

水平モニター

横列のディスプレイを調節します。

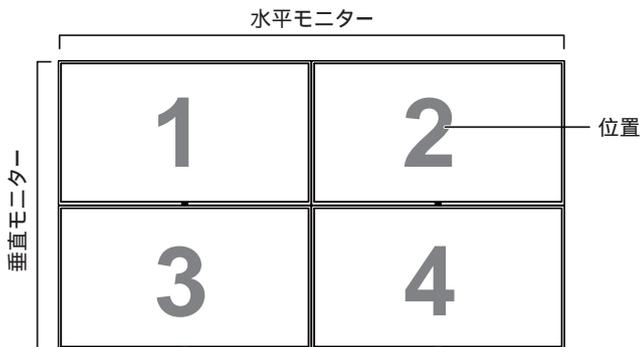
垂直モニター

縦列のディスプレイを調節します。

位置

スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

例: 2 x 2 の画面マトリックス(ディスプレイ 4 台)
 水平モニター = ディスプレイ 2 台
 垂直モニター = ディスプレイ 2 台



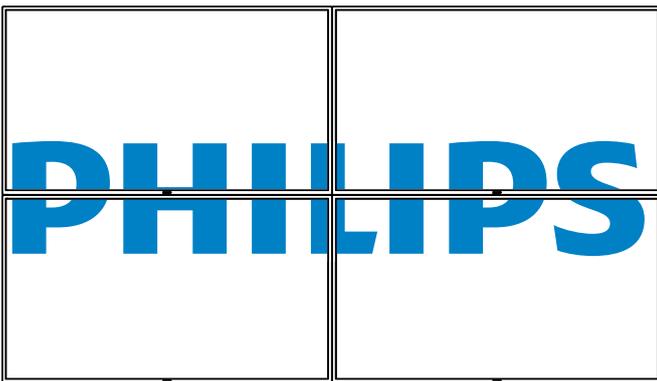
例: 5 x 5 の画面マトリックス(ディスプレイ 25 台)
 水平モニター = ディスプレイ 5 台
 垂直モニター = ディスプレイ 5 台



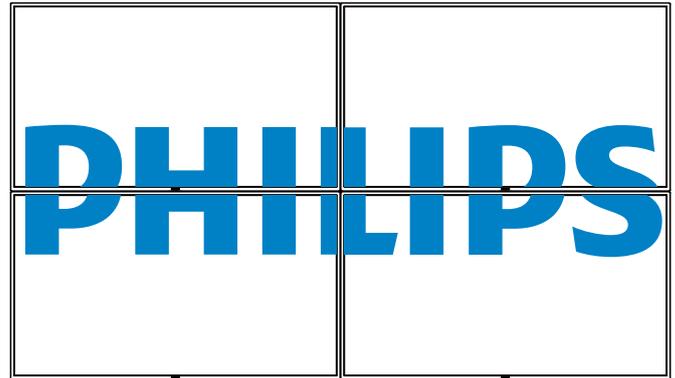
フレーム補正

フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。{ オン } を選択した場合、画像を正確に表示するためにディスプレイは画像を調整してディスプレイのベゼル幅を補正します。

{ オン }



{ オフ }

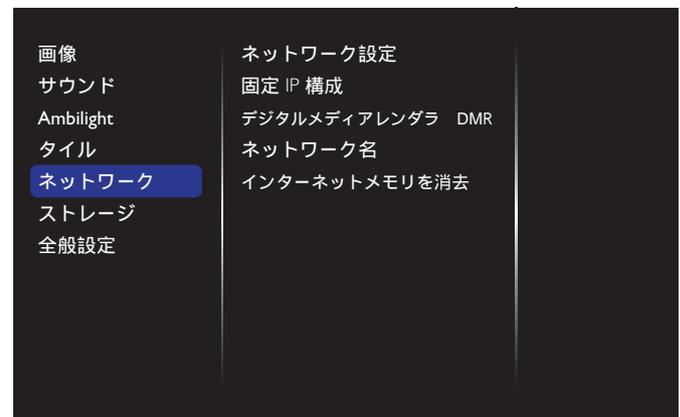


注記: 補正幅を設定するためにファクトリモードに入る必要があります

パワーオンディレイ

パワーオンディレイ時間 (秒) を調節すると、複数のディスプレイが接続されている場合に、ID 番号ごとに各ディスプレイの電源を順番に入れることができます。

5.1.5. ネットワーク



ネットワーク設定

{ ネットワーク構成 } : 本製品のネットワーク リソースへのアドレスの割り当て方を選択します。
 { DHCP } (推薦) または { 固定 IP } を選択できます。

固定 IP 構成

{ 固定 IP } が選択されます。このディスプレイの場合、{ IP アドレス }、{ ネットマスク }、{ ゲートウェイ }、{ DNS 1 }、および { DNS 2 }。

デジタルメディアレンダラ - DMR

ネットワークを経由して、接続されたデバイスからマルチメディア ファイルを受信します。

ネットワーク名

複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

名前を入力するには、スクリーン上のキーボードまたはリモコン上のキーパッドを使用します。

インターネットメモリを消去

クッキー、ブックマーク、履歴一覧やオートフィルで使用したデータをすべて消去します。

メモ:

- AutoPlay 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいフォルダーを作成し、それに「philips」と名前を付けます。すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れます。

5.1.6. Storage (ストレージ)



SmartCMS

SmartCMS 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 } : 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 } : 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB AutoPlay

USB AutoPlay 用のコンテンツのデフォルトストレージの位置を選択します。

- { 内部 } : 内部ストレージをデフォルトとして設定します。
- { 外部 } : 外部ストレージをデフォルトとして設定します。

USB copying (USB コピー)

- USB コピーは、内部メモリと USB フラッシュデバイス間でメディアファイルを転送することができます。また、インターネットに対する URL をインポートする簡単な方法を提供します。
- { インポート } : USB フラッシュデバイスから内部メモリにメディアファイルと URL リストをインポートします。
- { エクスポート } : 内部メモリから USB フラッシュデバイスにメディアファイルと URL リストをインポートします。

USB cloning (USB クローン作成)

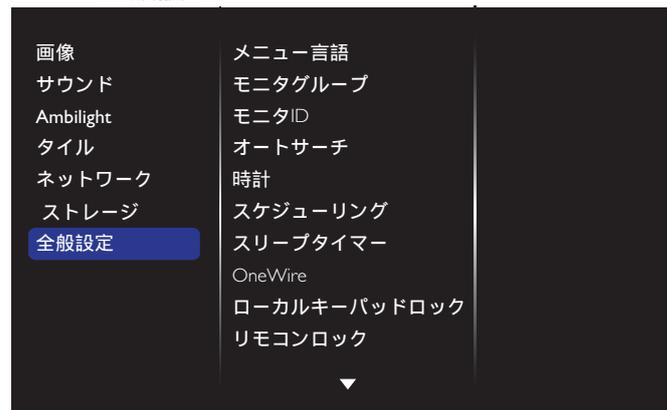
ユーザー設定をインポート / エクスポートします。

- { インポート } : ユーザー設定を USB フラッシュデバイスからインポートします。
- { エクスポート } : ユーザー設定を USB フラッシュデバイスにバックアップします。

メモ:

- AutoPlay 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいフォルダーを作成し、それに「philips」と名前を付けます。すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れます。
- URL 用の USB コピーのインポート機能を使用する前に、新しいテキストドキュメントを作成し、それに「url_schedulinglist.txt」と名前を付けます。URL を入力する時は、次の形式に従わなければなりません:「スケジュール番号、URL アドレス」。
- 例えば、スケジュール 1 とスケジュール 2 の URL をそれぞれ www.google.com と tw.yahoo.com に設定します。
1、www.google.com 2、tw.yahoo.com

5.1.7. 全般設定



メニュー言語

OSD メニューで使用する言語を選びます。

モニタグループ

グループ範囲を 1 から 255 の値に調節します。デフォルト設定は 255 です。

モニタ ID

RS232C 接続経由で本製品を操作するために ID 番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ~ 255 の間です。デフォルト設定は 1 です。

オートサーチ

選択すると、本製品で利用可能な信号ソースを自動で検出して表示します。

時計

本製品の内部時計に設定された現在の日付と時刻を設定します。

スケジューリング

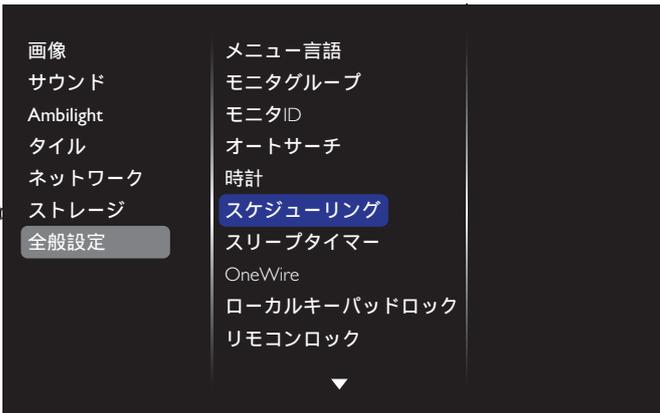
この機能を使うと、最大 7 つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動することができます。

以下の設定が可能です:

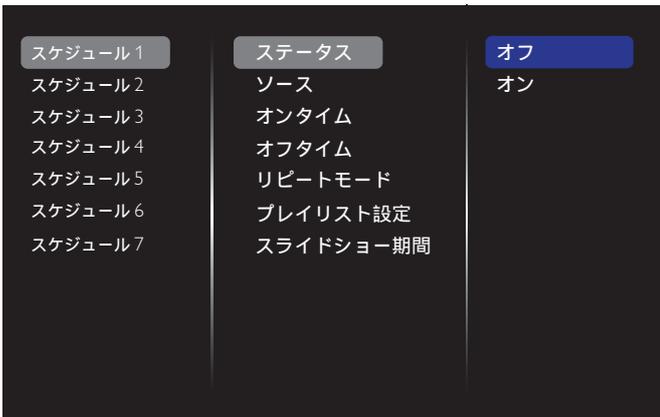
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。
- 本製品を電源オン、電源オフにする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。

メモ:

- この機能を使用する前に、{ 時計 } メニューで現在の日付と時刻を設定することをおすすめします。
- { 全般設定 } メニューにある { 時計 } オプションを変更した後、この { スケジューリング } をもう 1 度設定する必要があります。



1. 7つのスケジュールを設定できます。ステータスでオンを選択します。



2. ソースで入力ソースを選びます。

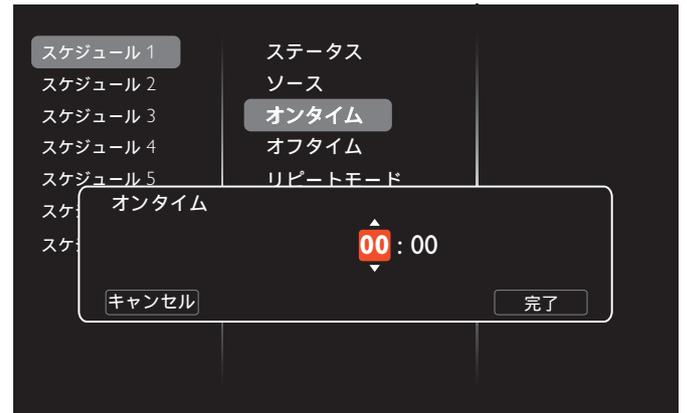
{ソース} → {USB playlist} (USB プレイリスト) が選択されます。プレイリストを設定する必要があります。

{ソース} → {Internet} (インターネット) が選択されます。URL アドレスを設定する必要があります。

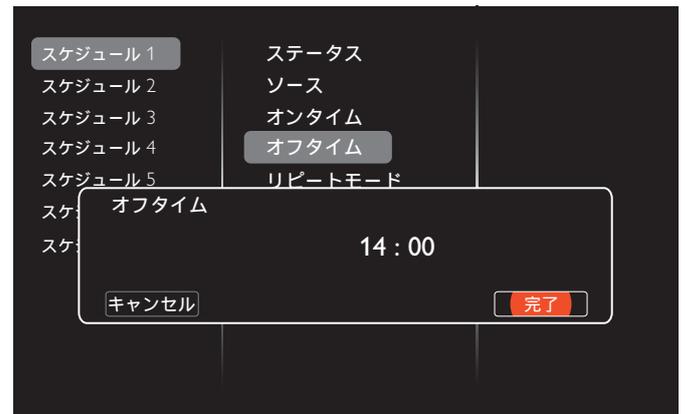
{ソース} → {USB AutoPlay} が選択された場合。USB に「philips」と名前を付けたフォルダーを作成し、すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れる必要があります。



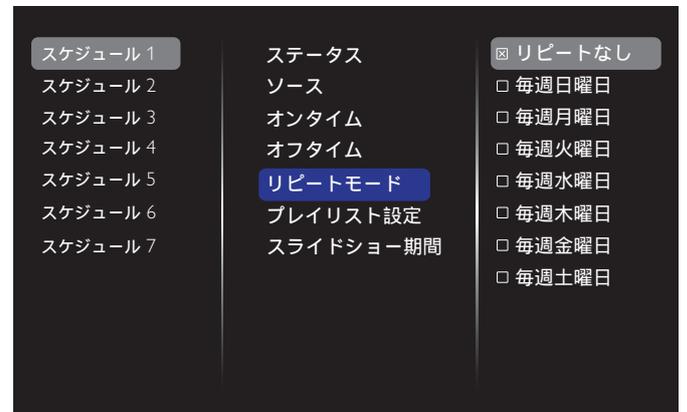
3. オンタイムを設定します。



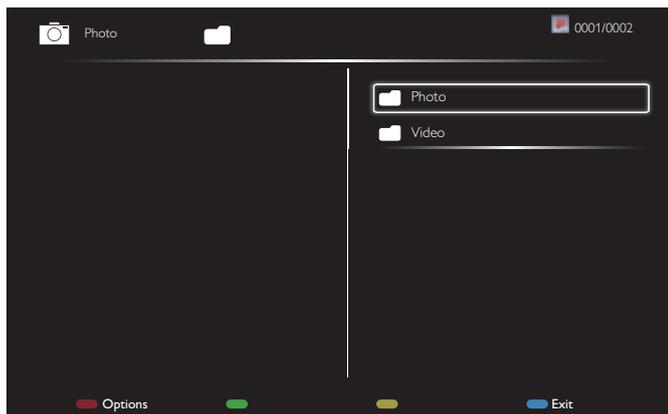
4. オフタイムを設定します。



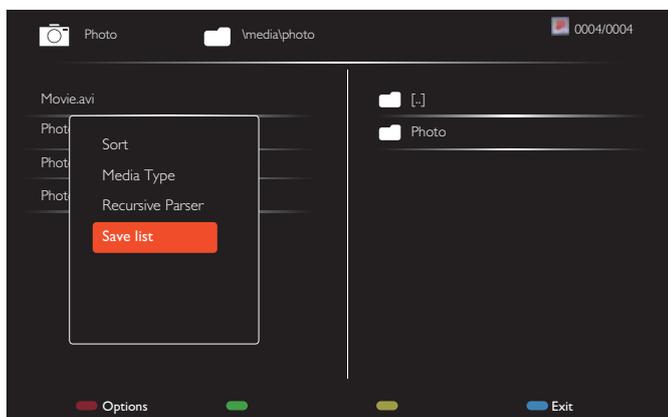
5. リピートモードを選択します。



6. {ソース} → {USB} を選択した場合は、プレイリスト設定に移動します。



- [▲][▼] ボタンを押してファイルを選択します。
 - [←][→] ボタンを押して、プレイリストとファイルマネージャーとを切り替えます。
 - [OK] ボタンを押してプレイリストを設定または消去します。
7. プレイリストを保存するには、[] を押して **Save list** を選択します。



メモ :

- それぞれのプレイリストは最大 30 ファイルまで対応しています。
- {工場出荷時の設定} を選択してもプレイリストは消去されません。ファイルを手動で削除するか、USB 内にある usb_schedulinglist.txt を削除する必要があります。

スリープタイマー

指定した時間に本製品の電源を切ります。

OneWire

本製品の HDMI-CEC 規格に対応したデバイスを HDMI 端子で接続し、同じリモコンを使って操作します。

ローカルキーパッドロック

本製品のキーボード(コントロールボタン)機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロック}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外すべてロック}: [ー] および [+] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外すべてロック}: [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外すべてロック}: [ー], [+] および [⏻] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

リモコンロック

リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

- {ロック解除}: キーボード機能を有効にします。
- {すべてロック}: 全てのキーボード機能をロックします。
- {音量以外すべてロック}: [ー] および [+] ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {電源以外すべてロック}: [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。
- {音量と電源以外すべてロック}: [ー], [+] および [⏻] 電源ボタン以外の全てのキーボード機能を無効にします。

メモ :

- ローカルキーパッドロックまたはリモコンロックのロック機能を無効にするには、リモコンの [Home] ボタンと 1998 を押します。
- USB AutoPlay を使用する前に、新しいフォルダーを作成し、それに「philips」と名前を付けます。すべてのメディアファイルを AutoPlay 用の特定フォルダーに入れます。

ピクセルシフト

ビデオ入力ソースに対して、30 秒間本製品を使用しなかった場合に生じる「焼き付き」や「残像」からディスプレイを保護するために、{オン} を選択してスクリーンのイメージを自動的に動かすことができます。

スマートパワー

動的電力消費および画像コントラストを最適化するため、バックライトのレベルを選択します。

オプションは次の通りです: {オフ}, {標準}, {中}, {高} から選択します。

Wake on lan

{オン} を選択すると、ネットワーク経由でディスプレイをオンにできます。

スイッチオン状態

次に電源コードを取り付けた際に表示されるディスプレイの状態を選びます。

- {オン}: 電源コードを取り付けた後、画面はオンの状態になります。
- {スタンバイ}: 電源コードを取り付けた後、画面はスタンバイの状態になります。
- {最終ステータス}: 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源状態(オン/オフ/スタンバイ)に戻ります。

電源 LED ライト

インジケータをオフにするには {オフ} を選択します。

ロゴ

{オフ} を選ぶと、本製品に電源を入れた時に PHILIPS ロゴが表示されなくなります。

APM

{オン} を選択します。信号が存在しない場合には、本製品の電源が自動的にオフになります。

ソース通知

[⏻] 電源ボタンを押して本製品をスタンバイモードからオンにしたり入力信号を変更した場合には、インフォメーション OSD がスクリーンの左上隅に表示されます。

この機能をオフにするには {オフ} を選択します。

工場出荷時の設定

カスタマイズされた全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

5.1.8. ウェブコントロール

1. ネットワークに接続していることを確認します。情報ボタンを押し、ネットワークの接続を表示できます。

HDMI 1 1080p60		26/09/2014 金曜日 09:32:00
画像形式	ワイドスクリーン	
画像スタイル	標準	
サウンドスタイル	パーソナル	
スマートパワー	オフ	
音量	0	
モニタグループ	1	
モニタID	1	
Model name	BDL4335QL	
SWVersion	1.51	
Serial no		
Temperature	25°C	
ネットワーク構成	DHCP と自動 IP	
IP アドレス	192.168.1.116	
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	192.168.1.1	
ネットワーク名	BDL4335QL	
Ethernet MAC アドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF	

2. PD に接続したコンピュータで、まず、ウェブブラウザを開きます。そして、ウェブアドレスフィールドにネットワーク管理用の PD のアドレスを入力し、Enter を押して、ウェブコントロールのホームページにアクセスします。



注記: デフォルトユーザー名は admin、パスワードは 1234 です。

3. ウェブコントロールのデフォルトメインページは電源ページです。これは、ディスプレイをオンに切り替えたり、または、ディスプレイをスタンバイにする簡単な方法を提供します。



電源オフ: ディスプレイをスタンバイにします。

電源オン: ディスプレイをオンにします。

電源ステータスの取得: このボタンをクリックして、ディスプレイのステータスを取得します。

注記: 電源オン機能は、Eco モードを標準モードに設定した後でのみサポートされます。

4. ビデオをクリックして、ビデオページに切り替えます。これは、ビデオ設定を簡単に調整する方法を提供します。



輝度: LCD パネルのバックライトのブライトネスを変更することにより、画像全体の明るさを調整します。(最低) から 100(最高) まで。

ビデオコントラスト: 画像の鮮明度の調整。画像の黒い部分はよりリッチな黒色に、そして白い部分は更に輝きます。(最低) から 100(最高) まで。

色: 画像の色の強さの増減を調整します。(最低) から 100(最高) まで。

鮮明度: 画像の細部の改善を調整します。(最低) から 100(最高) まで。

色合い: スクリーンの色合いを調整します。(最低) から 50(最高) まで。

バックライト: 本製品のバックライトの明るさを調節します。(最低) から 100(最高) まで。

ガンマ: 画像の輝度やコントラストに関連した非線形性の設定を調節します。(最低) から 4(最高) まで。

ノイズリダクション: 画像からのノイズの除去を調整します。随意に適切なノイズ除去レベルを選択できます。こちらより選択します: オフ / 低 / 中 / 高

画像形式: 画像の表示エリアを変更します。適切な形式を選択することができます。こちらより選択します: オートズーム /16:9/ ワイド /DOT BY DOT/4:3

ビデオソース: 入力ソースを選択します。USB/ ネットワーク/ インターネット /SmartCMS/CVBS/YpPr/VGA/HDMI/DVI-D から選択します

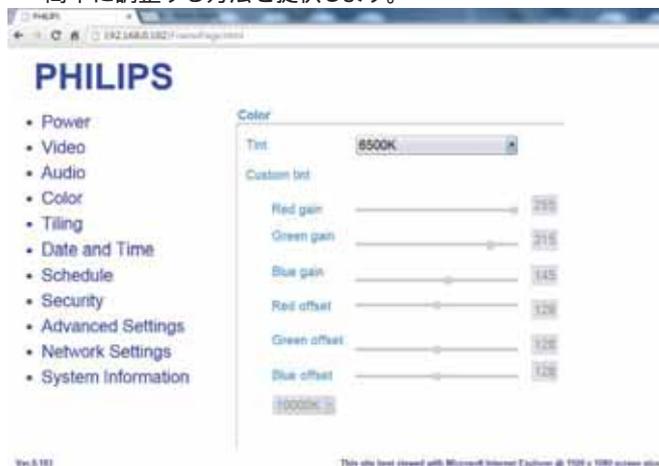
自動調整: 自動調整機能を使って、画像の表示位置を自動的に最適化します。

5. オーディオをクリックして、オーディオページに切り替えます。これは、オーディオ設定を簡単に調整する方法を提供します。



音量：ボリュームの増減を調整します。(最低)から6(最高)まで。
 高音：高音の増減を調整します。(最低)から8(最高)まで。
 低音：低音の増減を調整します。(最低)から8(最高)まで。

6. 色をクリックして、色ページに切り替えます。これは、色設定を簡単に調整する方法を提供します。



色温度：カラーバランスを変更します。寒色 / 標準 / 暖色 / カスタムから選択します

カスタム色合い：この機能により、R(赤)、G(緑)、B(青)設定を個別に変化させることで、画像の色調を正確に調整できます。

注記：カスタム色合いは、色温度がカスタムに設定されている場合のみ利用可能です。

7. Tiling をクリックして、Tiling ページに切り替えます。この機能を使うと、最大 225 台のディスプレイ (縦に最大 15 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。



水平モニター：横列のディスプレイを調節します。

垂直モニター：縦列のディスプレイを調節します。

位置：スクリーン配列でディスプレイの位置を調節します。

フレーム補正：フレーム補正機能のオンまたはオフを選択します。

有効：タイル機能の { オン } または { オフ } を選択します。

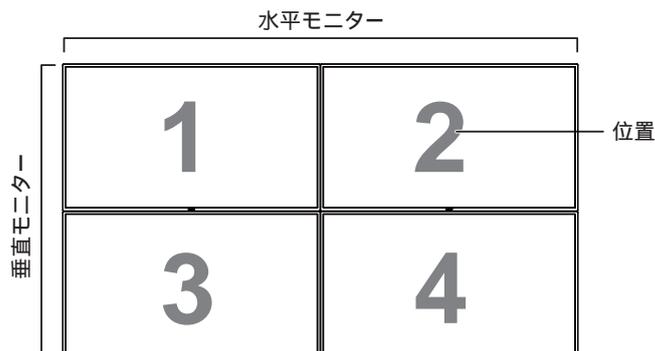
パワーオンディレイ：パワーオン遅延時間を調整することで、各ディスプレイを順番にパワーオンすることができます。

注記：

例：2 x 2 の画面マトリックス(ディスプレイ 4 台)

水平モニター = ディスプレイ 2 台

垂直モニター = ディスプレイ 2 台



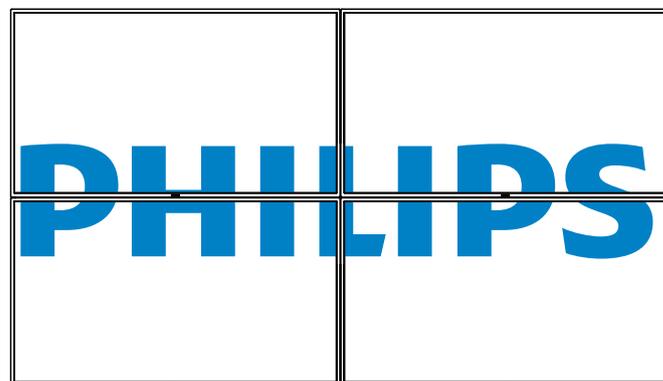
例：5 x 5 の画面マトリックス(ディスプレイ 25 台)

水平モニター = ディスプレイ 5 台

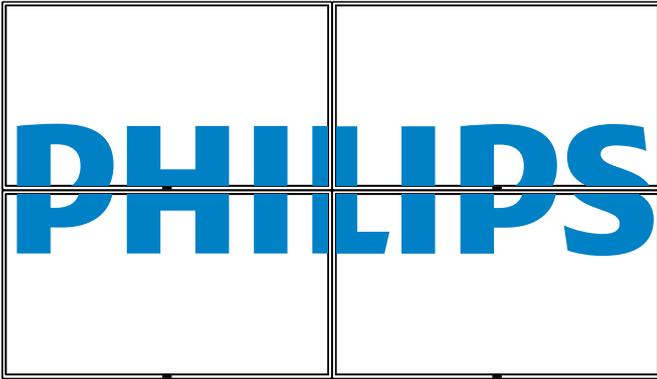
垂直モニター = ディスプレイ 5 台



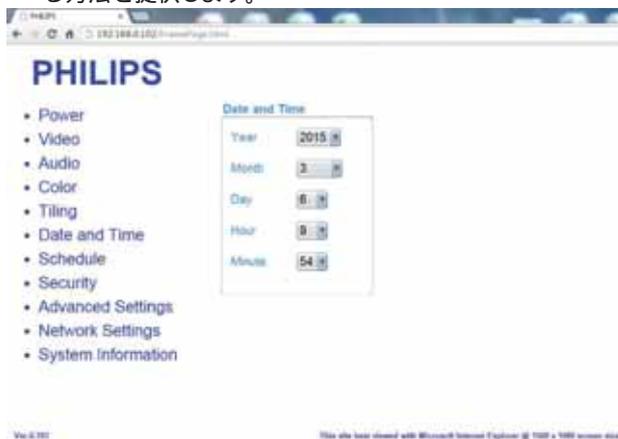
フレーム補正 { オン }



フレーム補正 { オン }



8. 日付と時刻をクリックして、日付と時刻ページに切り替えます。これは、ディスプレイの内部時計の日付と時刻を簡単に設定する方法を提供します。



9. スケジュールをクリックして、スケジュールページに切り替えます。この機能を使うと、最大7つの異なるスケジュール間隔で本製品を作動させることができます。



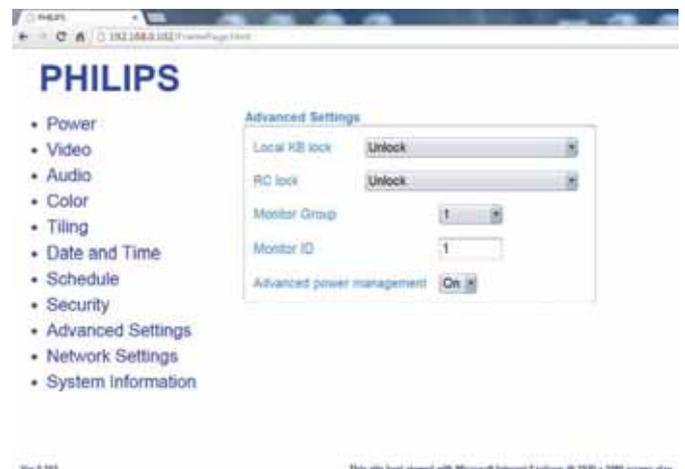
注記: スケジューリング設定に関する詳細説明については、21ページのスケジューリングを参照してください。

10. セキュリティをクリックして、セキュリティページに切り替えます。これは、ユーザー名とパスワードを簡単に変更する方法を提供します。

ユーザー名とパスワードフィールドに新しいユーザー名とパスワードを入力し、その後、設定ボタンをクリックして、新しいユーザー名とパスワードを設定します。



11. 全般設定をクリックして、高度設定ページに切り替えます。



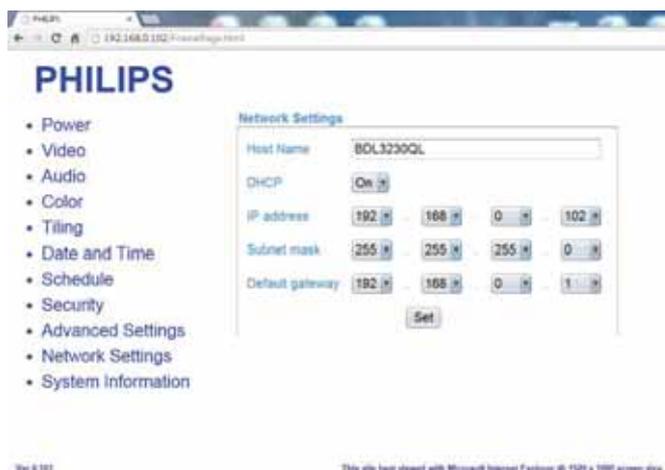
ローカルキーパッドロック: 本製品のキーボード(コントロールボタン)機能を有効または無効にします。

リモコンロック: リモコンのボタン機能を有効または無効にします。

モニタグループ: グループ範囲を1から255の値に調節します。デフォルト設定は1です。

モニタID: RS232C 接続経由で本製品を操作するためにID番号を調節します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意的IDを割り当てる必要があります。モニターのID番号範囲は1~255の間です。デフォルト設定は1です。

12. ネットワーク設定をクリックして、ネットワーク設定ページに切り替えます。

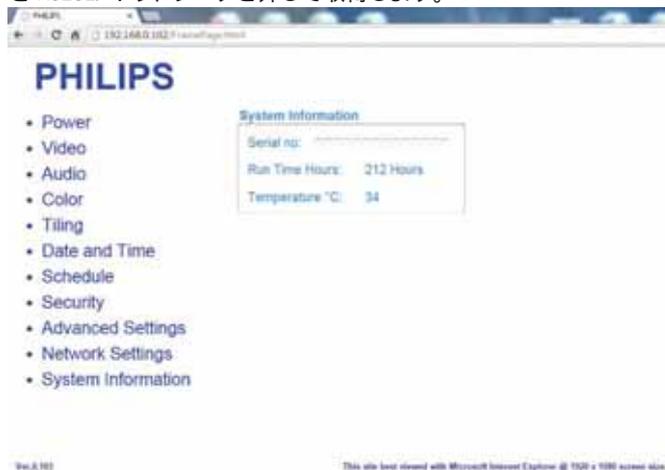


ホスト名: 複数のディスプレイが接続されている場合、各ディスプレイの名前を変更して識別しやすくなります。

DHCP: 本製品のネットワークリソースへのアドレスの割り当て方を選択します。(オン: DHCP と自動 IP、オフ: 固定 IP)。DHCP がオンに設定されている場合、デバイスは、起動するたびに、アドレスを要求し、割り当てられます。そうでない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を依頼する必要があります。

13. システム情報をクリックして、システム情報ページに切り替えます。

ディスプレイ情報を取得する。シリアル番号、動作時間および温度を RS232/ ネットワークを介して取得します。



注記:

- 一部のブラウザの問題は、ブラウザ自身により引き起こされている可能性があります。最適な表示およびセキュリティのために、ブラウザを最新維持することをお勧めします。
- ウェブコントロールの最適な性能を実現するために IE の使用を推奨します。

6. USB デバイス互換性

動画

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	最大フレーム率 (fps)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mpg mpeg .vob	PS	MPEG-1	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 DVD-PCM、AC3
		MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	
.ts	TS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50, 60Hz 1920x1080p@frame rate=24, 25, 30Hz 1280x720p@frame rate=50, 60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts .mt2	MaTSTTS	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	
		MVC	1920x1080i @ field rate=50, 60Hz 1920x1080p @ frame rate=24, 25, 30Hz 1280x720p @ frame rate=50, 60Hz	-	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MPEG-2	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
		MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	
		H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	
.ts .m2ts .mts	AVCHD	MVC	1920x1080i@field rate=50, 60Hz 1920x1080p@frame rate=24, 25, 30Hz 1280x720p @ frame rate=50, 60Hz	-	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、 Dolby Pulse
.m4v	M4V	H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	AAC
.ism/Manifest .mpd	frag MP4	H.264	1920x1080	25p, 30p, 50p, 60p, 60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、WMA、 WMA-PRO
		MVC	1920x1080i@field rate=50, 60Hz 1920x1080p@frame rate=24, 25, 30Hz 1280x720p @ frame rate=50, 60Hz	-	30	
.mp4	MP4	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	
		MVC	1920x1080i@field rate=50, 60Hz 1920x1080p@frame rate=24, 25, 30Hz 1280x720p @ frame rate=50, 60Hz	-	30	
		WMV9/VC1	1920x1080	30p, 60i	30	
.mkv .mk3d	MKV	MPEG-4 ASP	1920x1080	25p, 30p, 50i, 60i	30	MPEG-1(L1&L2)、 MPEG-1、2、2.5 L3、 AAC/HE-AAC(v1&v2)、 AC3、E-AC3、WMA、 WMA-PRO
		H.264	1920x1080		30	

オーディオ

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数 (kHz)	最大ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
.mp3	MP3	-	-	48	384	MPEG-1、2、2.5 L3
.wma .asf	WMA (V2、最大 V9.2)	-	-	48	192	WMA
.wma	WMA Pro	-	-	96	768	WMA、WMA Pro
.wav(PC)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aif(mac) .aiff(mac)	LPCM	-	-	192	768	LPCM
.aac .mp4 .m4a	AAC	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)
.pls .m3u	プレイリスト	-	-	-	-	-
.m4a	M4A	-	-	48	1024	AAC、HE-AAC(v1&v2)

静止画

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオコーデック	最大解像度	周波数	最大ビットレート	オーディオコーデック
jpg/jpeg	JPEG		ベースライン : 色コード = 444、 サイズ <= 32768x16128 色コード = 422v、 サイズ <= 16384x16128 色コード = その他、未サポート	-	-	-
bmp	BMP		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-
png	PNG		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-
gif	GIF		4096x3072_4 ビット、 2730x2500_8 ビット、 2048x1536_16 ビット、 1500x1200_32 ビット、	-	-	-

メモ :

- コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
- コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちの映像になる可能性があります。

7. 入力モード

VGA 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された NTSC 規格
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変更された PAL 規格
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			

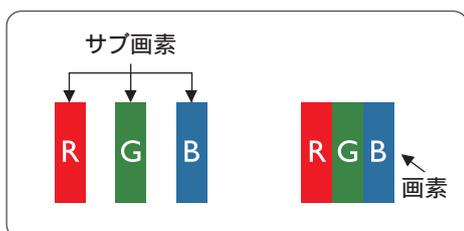
- PC のテキスト品質は、HD1080 モード(1920 × 1080、60Hz)で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー(および Windows の特定のバージョン)により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60Hz(垂直)と 31.5KHz(水平)を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合(または PC が接続されていない場合)に異常な信号(筋など)が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60Hz です。

8. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよびLCDディスプレイで使用されるPDP/TFTパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philipsでは保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよびLCDディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換/返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philipsではこれらのものに対してより高い品質規格を設定しています。

8.1. 画素とサブ画素



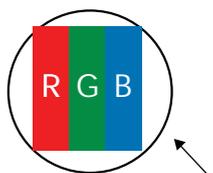
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

8.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には3つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？:

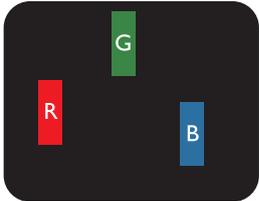
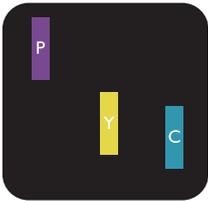
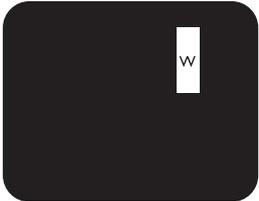
1つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は1つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは1、2または3つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1つのドット = 赤、緑、青の3つのサブ画素で構成される1つの画素。

8.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

 <p>1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。</p>	 <p>2つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)</p>	 <p>3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)</p>
---	---	--

8.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



8.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はととも目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- 暗いドット間の最小距離
- すべての欠陥ドットの総数

8.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ /LCD ディスプレイの PDP/TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記：* 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

8.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の様なパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり 1 日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからなくなることはない現象です。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

MURA を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- 結晶マトリックスの混入物または異物
- 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- バックライトの付近位置な輝度分布
- パネル部品誘発ストレス
- LCD セル内部の傷
- 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

MURA を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- バックライトの明るさを下げる
- スクリーンセーバーを使用する
- 装置周囲の空気温度を下げる

9. 清掃とトラブルシューティング

9.1. 清掃

本製品を使用する際の注意

- 手や顔、物をディスプレイの通気口に近づけないで下さい。ディスプレイ上部は、通気口から放出される排気のため高温となっており、身体の一部を近づけ過ぎると火傷や怪我をすることがあります。ディスプレイの上部付近に物を置くと、当該物およびディスプレイ本体に、熱による破損が生じる可能性があります。
- ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いて下さい。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルの破損や火事、感電を引き起こす恐れがあります。
- 清掃や保守作業を行う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

前面パネル清掃手順

- ディスプレイの液晶パネル部は非常にデリケートです。表面はクリーニング用のクロスか、柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いて下さい。
- 液晶パネル表面が汚れた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って余分な水分を取り除いた上で、液晶パネル表面を拭き埃を除いて下さい。その後、同じ種類の乾いた布で拭いて下さい。
- 液晶パネル表面を爪で引っ掻いたり、硬い物をぶついたりしないで下さい。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。

キャビネット清掃手順

- キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いて下さい。
- キャビネットの汚れがひどい場合は、中性洗剤の溶液に柔らかい糸くずの出ない布を浸し、固く絞って水分を取り除いた上で、キャビネット表面を拭きます。その後、別の乾いた布で拭いて表面を乾かして下さい。
- 液晶パネル表面は、水や洗剤にさらさないようにして下さい。水分がディスプレイ内部に入り込むと、動作不良や故障、感電事故が起こる恐れがあります。
- キャビネットを爪で引っ掻いたり、硬い物をぶついたりしないで下さい。
- キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないで下さい。
- ゴム製品またはポリ塩化ビニール製品を長期間キャビネット付近に置かないで下さい。

9.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源プラグが抜けている。 2. ディスプレイの背面にある主電源スイッチがオンになっていない。 3. 選択された入力ソースが接続されていない。 4. ディスプレイがスタンバイモードになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. ディスプレイに入力ソースを接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲に電子機器や蛍光灯がある。	干渉が少ない場所にディスプレイを移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力ソースがディスプレイのスペックに合っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていない。 2. スキャンモードが誤ってアンダースキャンに設定されている。 	画面設定メニューのズームモードまたは CUSTOM ZOOM メニューで、画像の配置を調整します。 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. {消音}がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	液晶パネルに画素欠陥がある。	ディスプレイは精密な技術で製造されていますが、液晶パネルに画素欠陥が存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3 の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像を長時間表示した。	静止画像を長時間表示しないで下さい。ディスプレイ上に残像が表示される原因となります。

10. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	940.9(水平) x 529.2(垂直)
縦横比	16:9
画素数	1920(水平) x 1080(垂直)
画素ピッチ	0.49(水平) x 0.49(垂直)
表示可能色	約 1,677 万色
輝度(標準)	350 cd/m ²
コントラスト比(標準)	3000:1(標準)
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 10W (左) + 10W (右) [RMS]/16 1 方向 1 スピーカーシステム 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	RCA ジャック x 2 0.5V [rms](標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
音声入力	RCA ジャック x 2 3.5mm フォンジャック x 1 0.5V [rms](標準) / 2 チャンネル (左 + 右)
RS232C	2.5mm フォンジャック x 2 RS232C 入力 / RS232C 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック x 1(8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 1 (タイプ A 19 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA) 音声 - 48 KHz/2 チャンネル (左 + 右) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック デジタル RGB: TMDS (ビデオ)
VGA 入力	D-Sub ジャック x 1 (15 ピン) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75), H/CS/V: TTL (2.2k), SOG: 1V [p-p] (75) 最大: 720p, 1080p, 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	RCA ジャック x 3 Y: 1V [p-p] (75), Pb: 0.7V [p-p] (75), Pr: 0.7V [p-p] (75) 最大: 480i, 576i, 480p, 576p, 720p, 1080i, 1080p
ビデオ入力	RCA x 1 (Component_Y と共有) コンポジット 1V [p-p] (75)

一般:

項目	仕様
内部メモリ	8 GB eMMC (4GB 使用可能)
電源	AC 100 - 240V, 50 - 60Hz
消費電力(最大)	132W
消費電力(標準)	99W
消費電力(スタンバイ & オフ)	<0.5W (RS232 アクティブ)
寸法 (スタンド付き) [幅 x 高さ x 奥行き]	968.2(幅) x 599.1(高さ) x 329.6(奥行)
寸法 (スタンドなし) [幅 x 高さ x 奥行き]	968.2(幅) x 559.4(高さ) x 59.9(背面カバー) x 60.9(壁取り付け)
重量 (スタンド付き)	10.57 Kg
重量 (スタンドなし)	8.7 Kg
総重量 (スタンドなし)	12.2 Kg

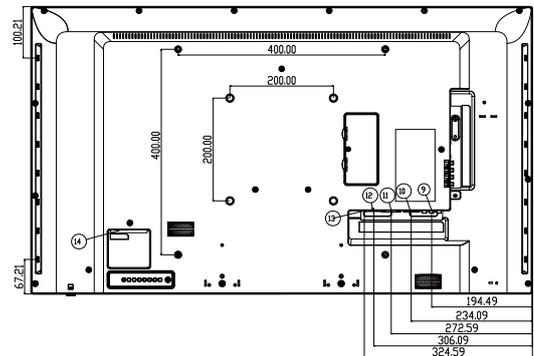
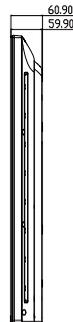
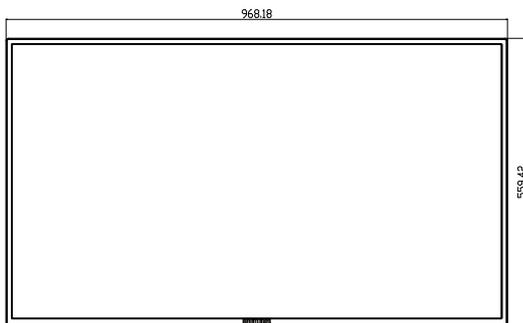
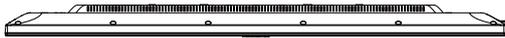
環境条件:

項目	仕様	
温度	操作時	0 ~ 40 °C
	保管時	-20 ~ 60
湿度	操作時	20 ~ 80% RH(結露なし)
	保管時	5 ~ 95% RH(結露なし)
高度	保管時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m

内部スピーカー:

項目	仕様
タイプ	1 方向 1 スピーカー
入力	10 W (RMS)
インピーダンス	16
出力音圧	82 dB/W/M
周波数応答	160 Hz ~ 13 KHz

11. 外形図





フィリップス デジタルサイネージ用
ディスプレイ・サポートセンター

0120 - 060 - 530
philips-support@seamless.co.jp

受付時間
10:00-17:00(平日)

2016 © Koninklijke Philips N.V. 無断複製および転載を禁じます。

PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、Koninklijke Philips N.V.の許可を得て使用していません。Koninklijke Philips N.V.

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。